

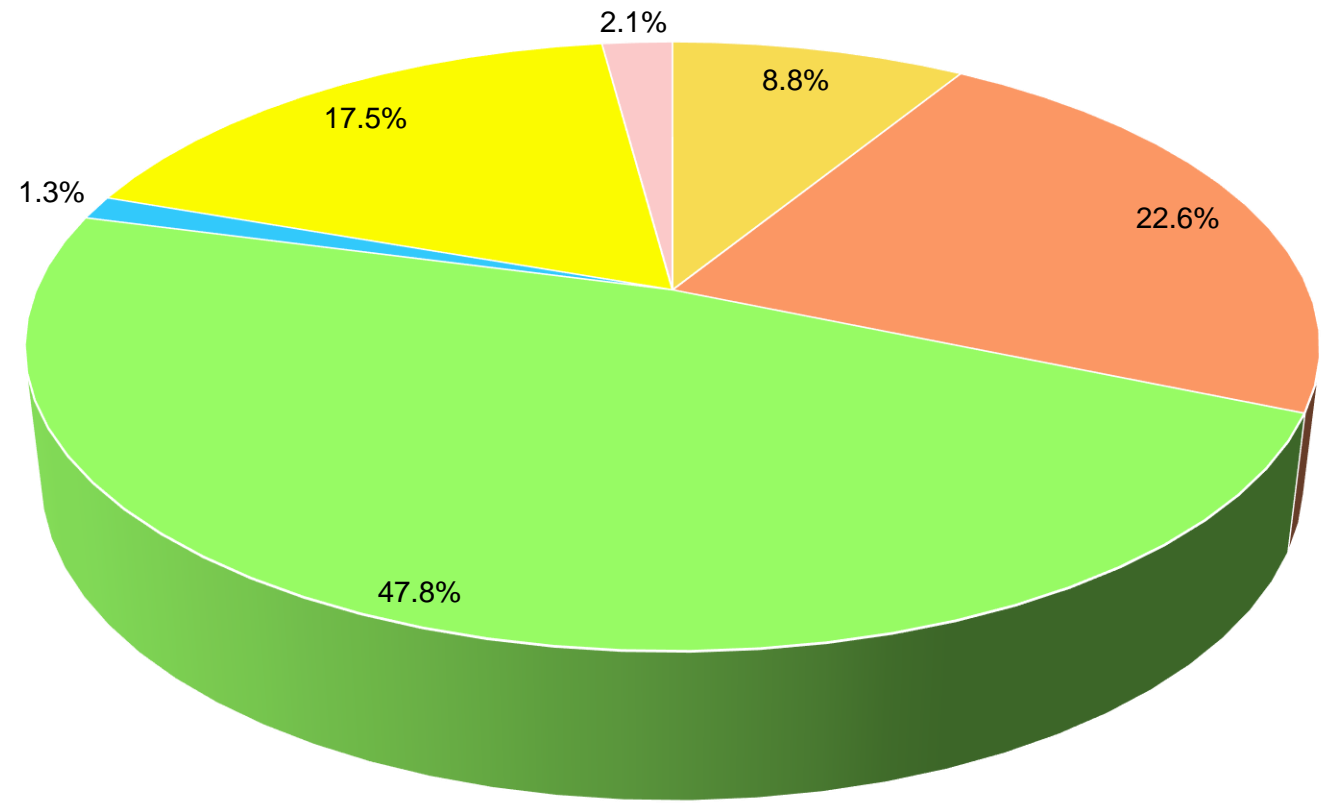
# 日本保険薬局協会 薬局薬剤師機能拡大委員会

## 2019年度 会員管理薬剤師アンケート 報告書

2020年2月

- 実施主体 日本保険薬局協会 薬局薬剤師機能拡大委員会
- 実施目的 今後の協会の発展を支える保険薬局全般に関する情報源の確立
- アンケート内容 薬局薬剤師の取組に関する情報を中心としたアンケート
- アンケート対象 日本保険薬局協会会員薬局管理薬剤師
- アンケート方法 オンラインWEB調査
- アンケート実施期間 2020年1月7日～2020年1月24日
- アンケート案内方法 正会員の協会担当者にメールの配信  
協会に登録している管理薬剤師へメールの配信
- 回答数 3335薬局

問1. 貴店の立地形態についてお教えてください。  
<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335  
○大病院前…293件 ○中小病院前…753件 ○診療所前…1593件 ○病院敷地内…42件 ○面対応…584件 ○その他…70件



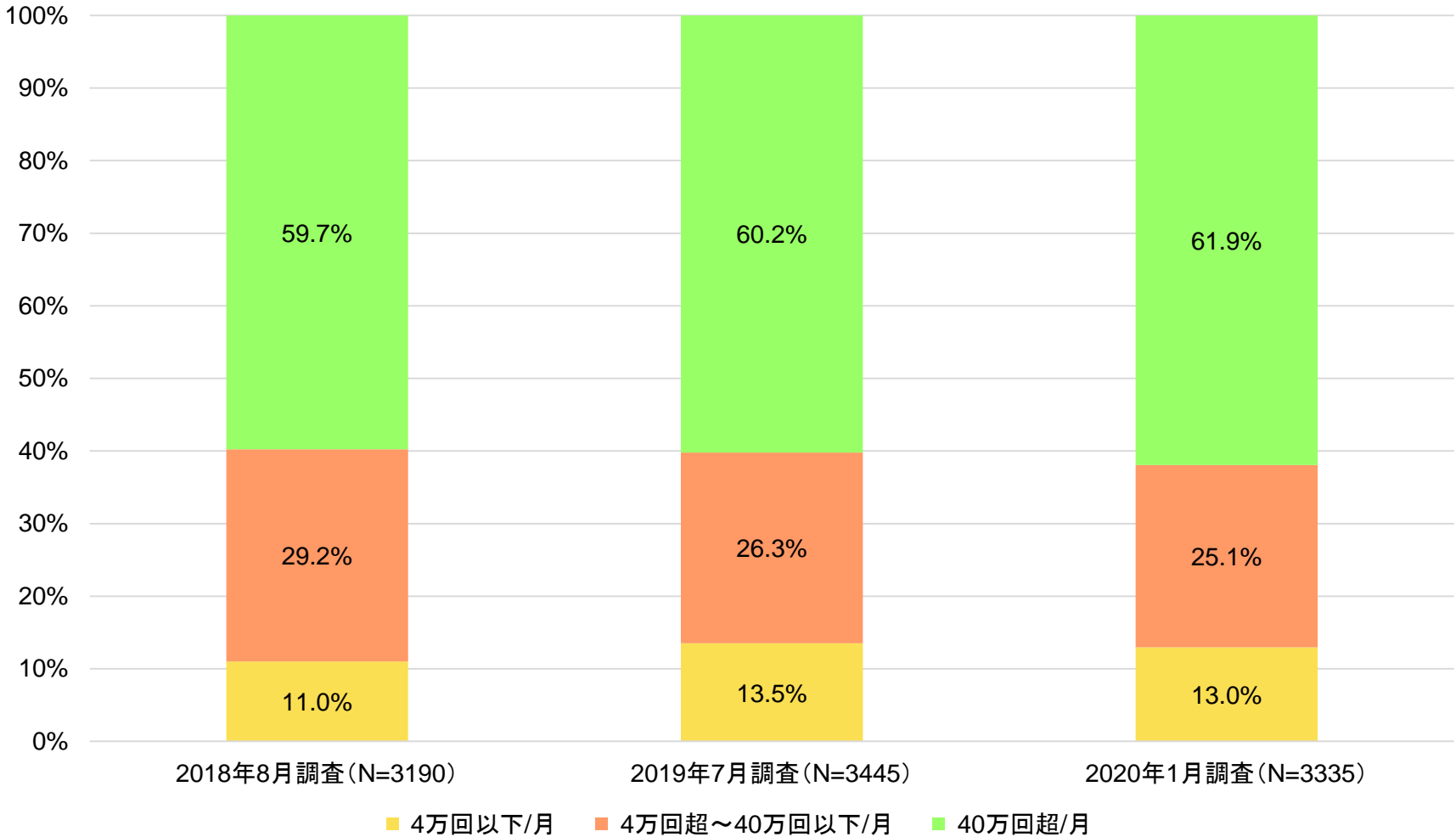
■ 大病院前 ■ 中小病院前 ■ 診療所前 ■ 病院敷地内 ■ 面対応 ■ その他

# 調査結果 薬局概要

問2. 貴店が所属する薬局グループ全体の処方箋受付回数について教えてください。

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○4万回以下/月…432件 ○4万回超～40万回以下/月…837件 ○40万回超/月…2066件

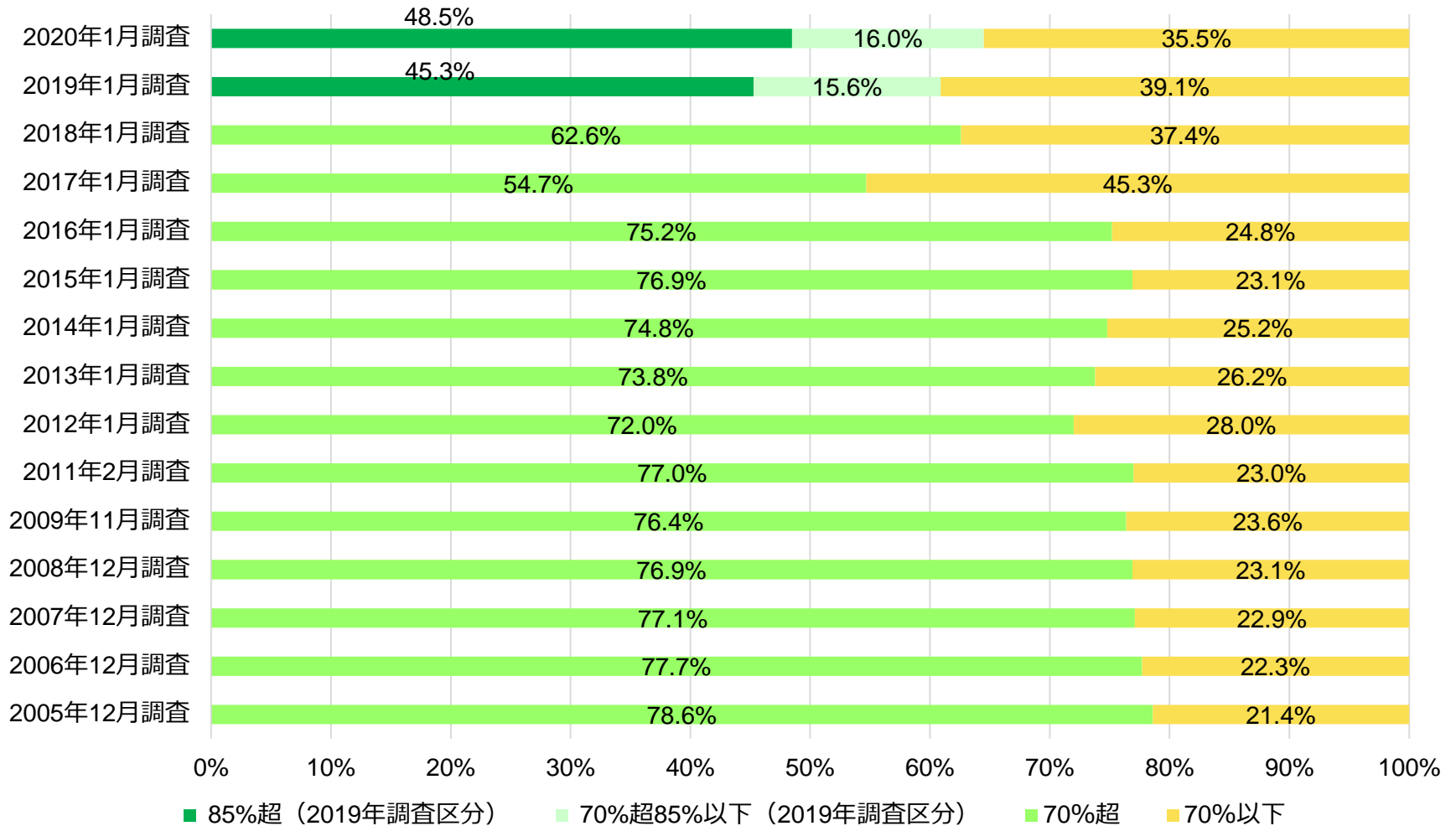


# 調査結果 薬局概要

問3. 貴店の処方せん集中度について、お教えてください。(処方せん集中度とは、貴店舗の調剤基本料を算定する際の値とお考えください。)

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○85%超…1619件 ○70%超85%以下…532件 ○70%以下…1184件

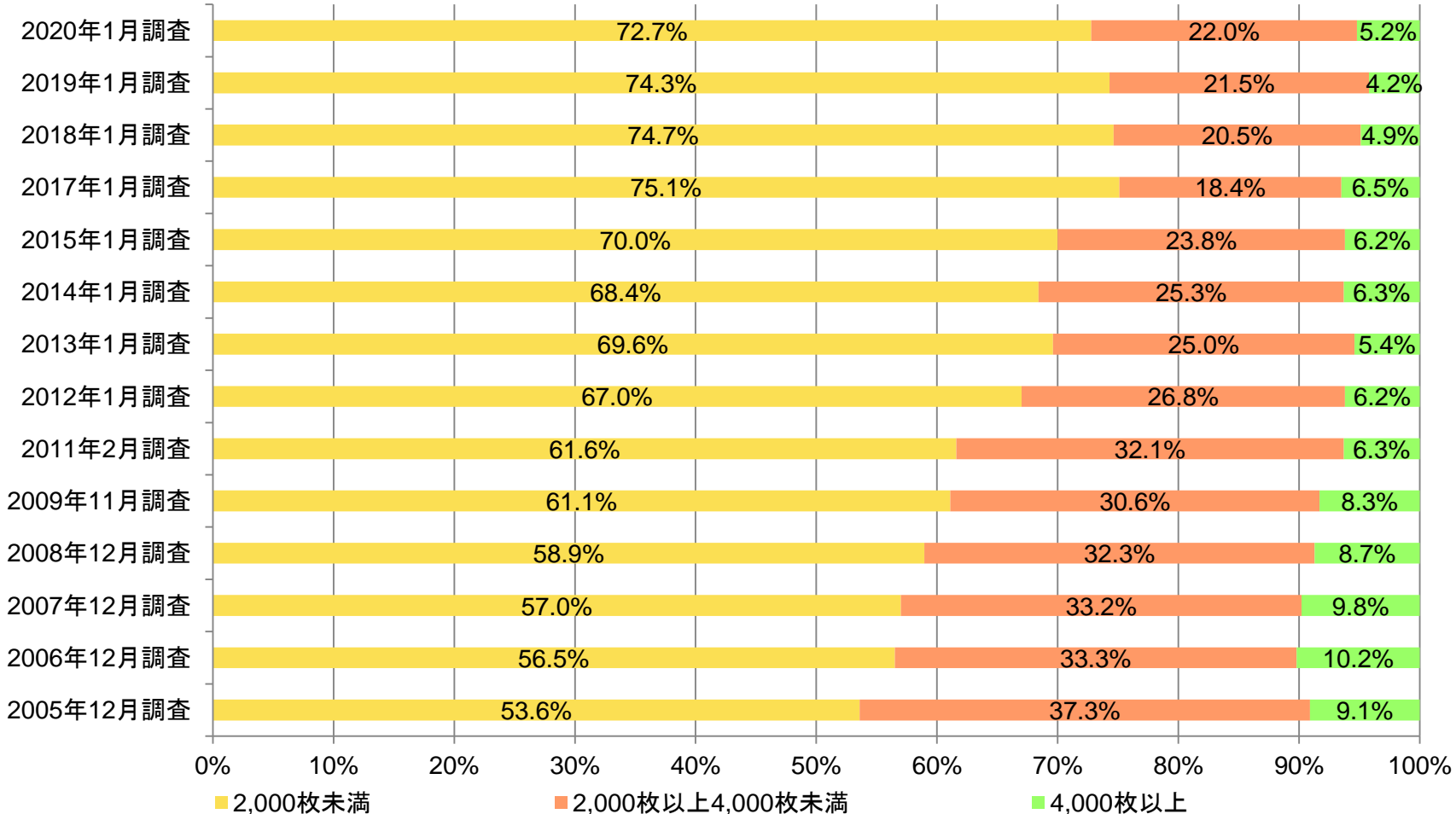


# 調査結果 薬局概要

問4. 月間平均応需処方せん枚数について、お教えてください。(2019年1月～2019年12月の月間平均処方せん取扱枚数とお考えください。)

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○2,000枚未満…2426件 ○2,000枚以上4,000枚未満…735件 ○4,000枚以上…174件

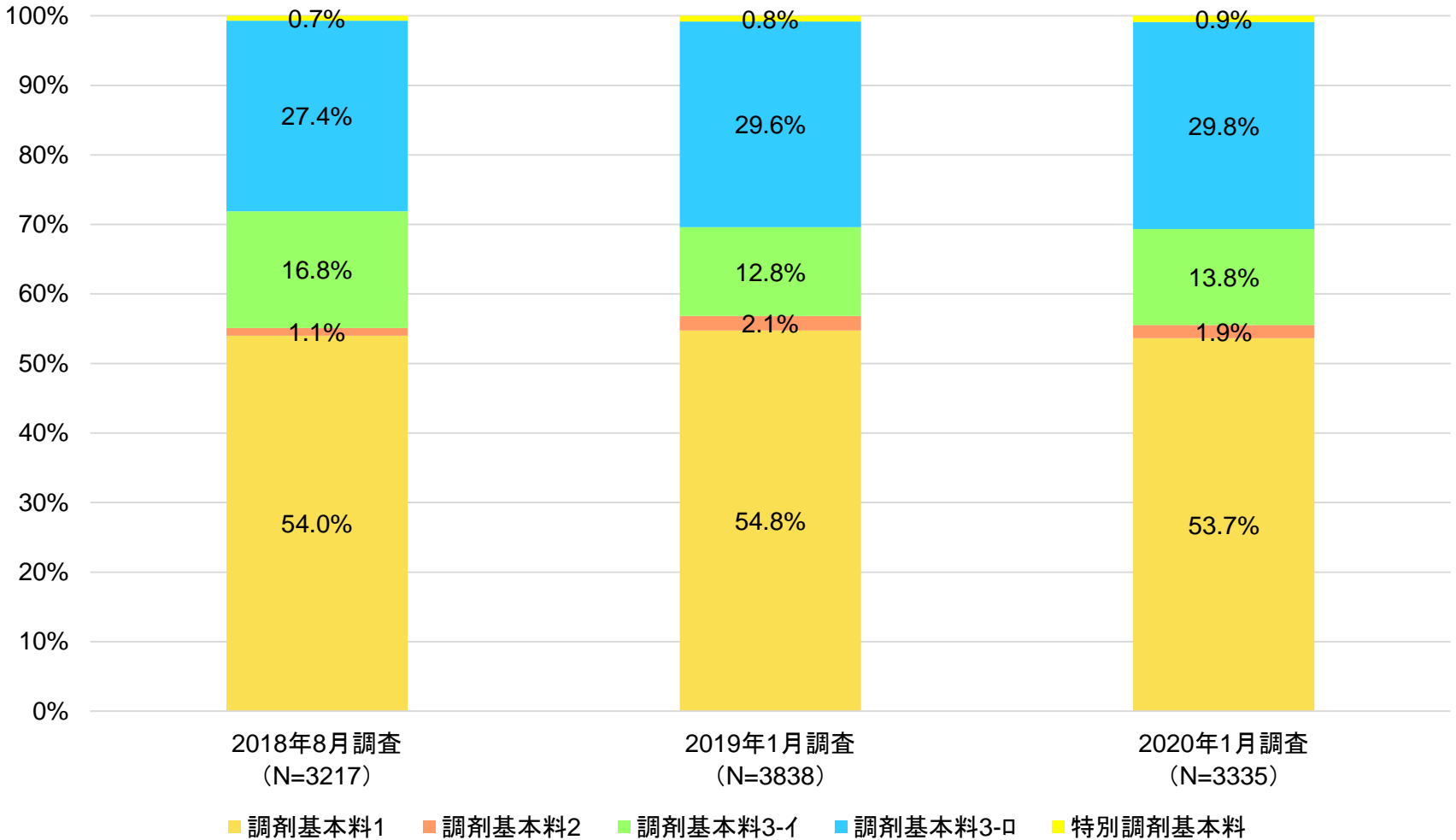


# 調査結果 薬局概要

問5. 貴店における調剤基本料について教えてください。

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○調剤基本料1…1790件 ○調剤基本料2…62件 ○調剤基本料3-イ…460件 ○調剤基本料3-ロ…993件 ○特別調剤基本料…30件



# 調査結果 在庫状況

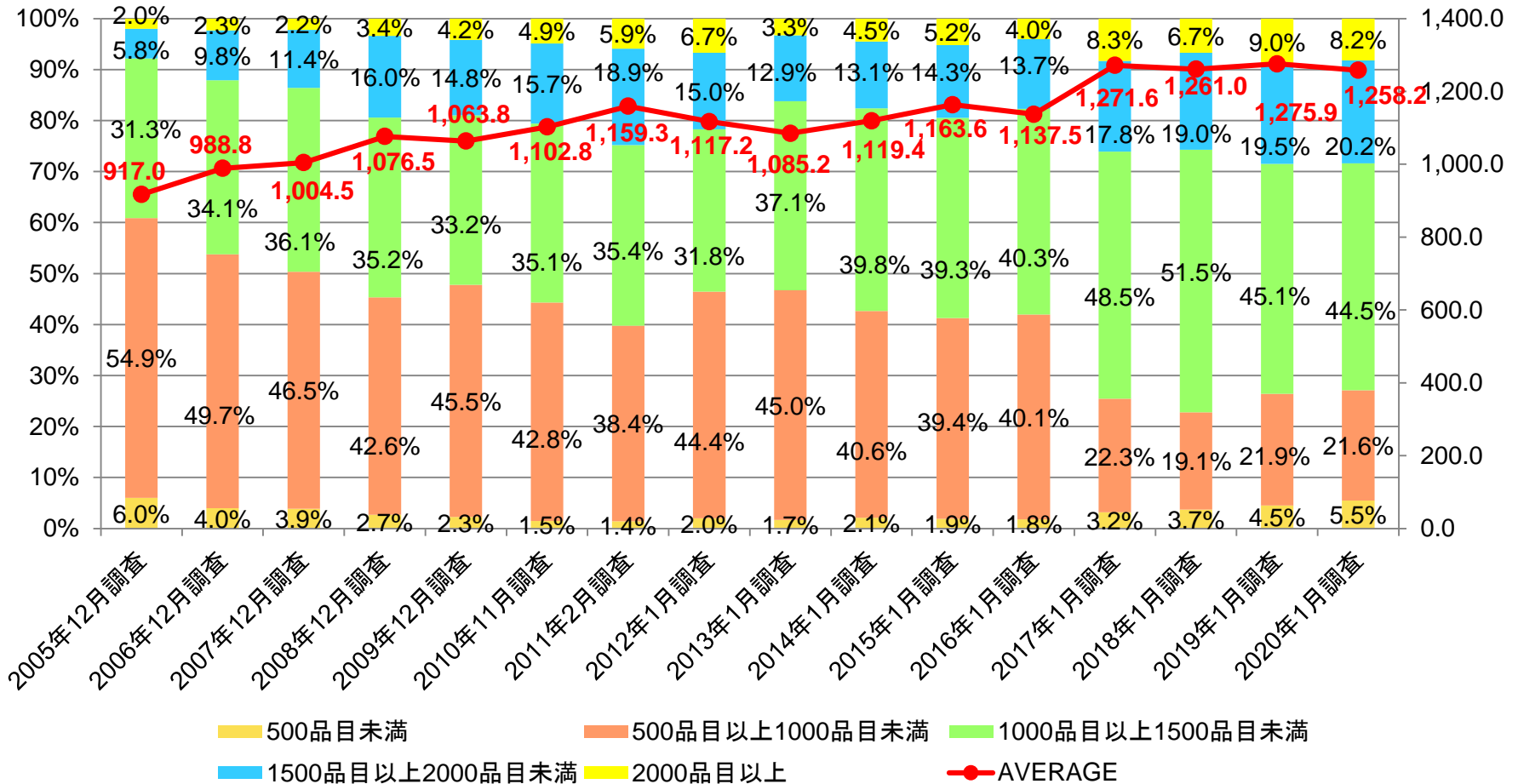
問6. 現在、在庫している医療用医薬品数についてお教えてください。

<半角数字でご記入ください> <必須> N=3334

(1) 在庫している全医療用医薬品の総品目数

○500品目未満…185件 ○500品目以上1000品目未満…721件 ○1000品目以上1500品目未満…1484件

○1500品目以上2000品目未満…672件 ○2000品目以上…272件 ○AVERAGE…1258.2





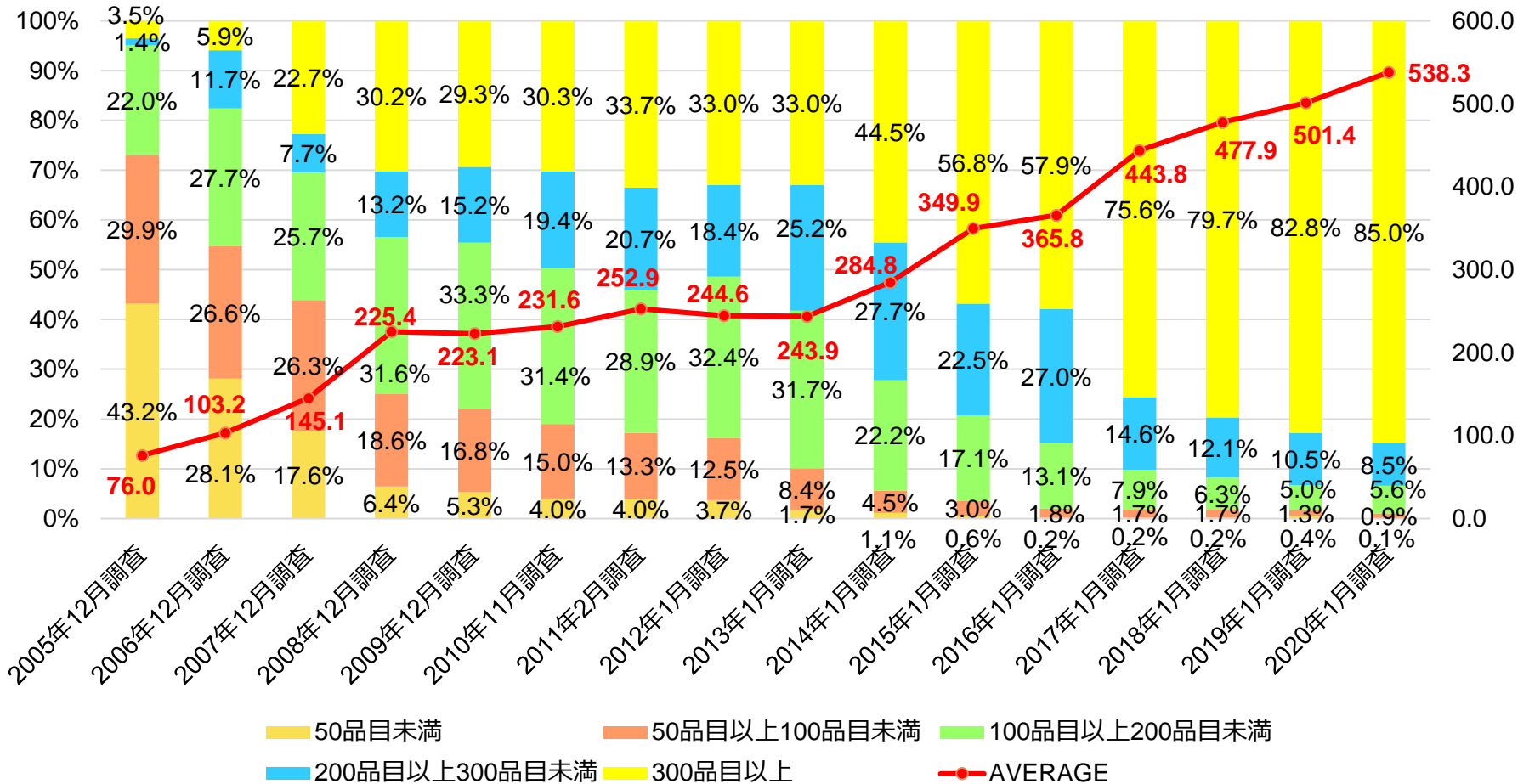
# 調査結果 在庫状況

問6. 現在、在庫している医療用医薬品数についてお教えてください。

<半角数字でご記入ください> <必須>

(2) 在庫している後発医薬品の品目数(後発医薬品とは、診療報酬点数における後発医薬品をさします) N=3334

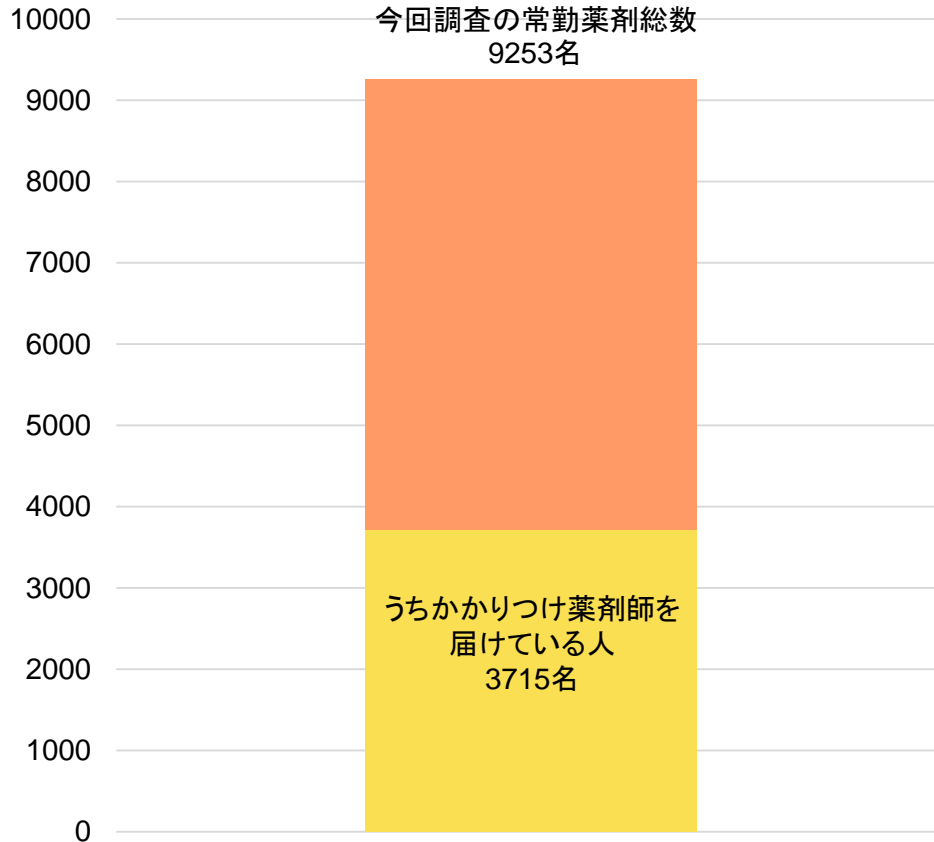
○50品目未満…3件 ○50品目以上100品目未満…30件 ○100品目以上200品目未満…186件 ○200品目以上300品目未満…282件  
○300品目以上…2833件 ○AVERAGE…538.3



# 調査結果 かかりつけ薬剤師

問7. 貴店に所属する薬剤師状況についてお教えてください。  
 <半角数字でご記入ください> <必須> ※薬剤師がない場合「0」を入力して下さい  
 常勤薬剤師数: 9253名 うち、かかりつけ薬剤師を届出ている人数 常勤: 3715名  
 常勤: 貴店に週32時間以上勤務する薬剤師

今回調査の常勤薬剤師総数に対する  
 かかりつけ薬剤師を届けている人数



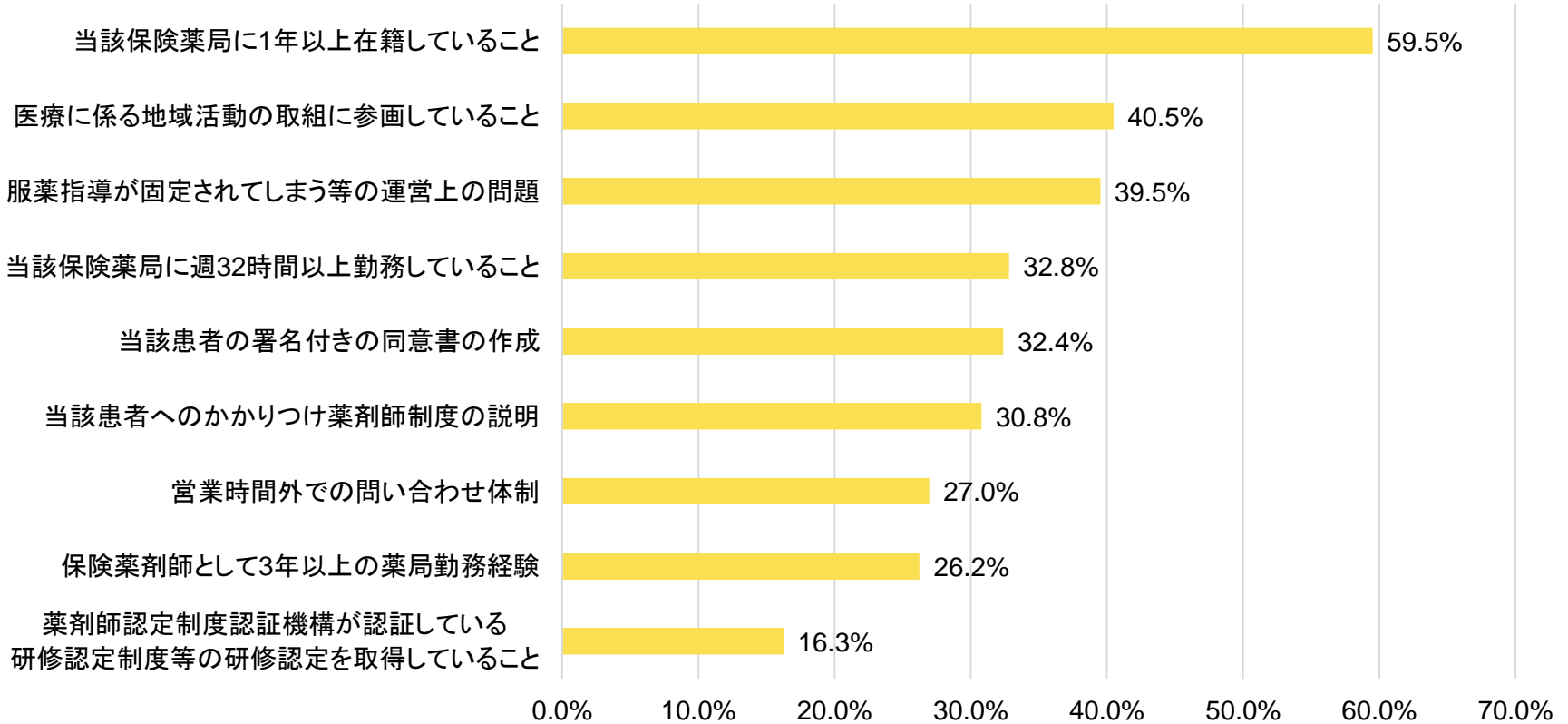
59.9%が届け出なし

# 調査結果 かかりつけ薬剤師

問8. かかりつけ薬剤師を推進する上で課題となる点をお教えてください。

<複数回答可> <必須> N=3335

- 保険薬剤師として3年以上の薬局勤務経験…875件 ○当該保険薬局に週32時間以上勤務していること…1094件
- 当該保険薬局に1年以上在籍していること…1985件
- 薬剤師認定制度認証機構が認証している研修認定制度等の研修認定を取得していること…542件
- 医療に係る地域活動の取組に参画していること…1350件 ○当該患者へのかかりつけ薬剤師制度の説明…1027件
- 当該患者の署名付きの同意書の作成…1080件 ○服薬指導が固定されてしまう等の運営上の問題…1318件
- 営業時間外での問い合わせ体制…899件 ○その他…95件



# 調査結果 かかりつけ薬剤師

問8. かかりつけ薬剤師を推進する上で課題となる点をお教えてください。  
その他 意見

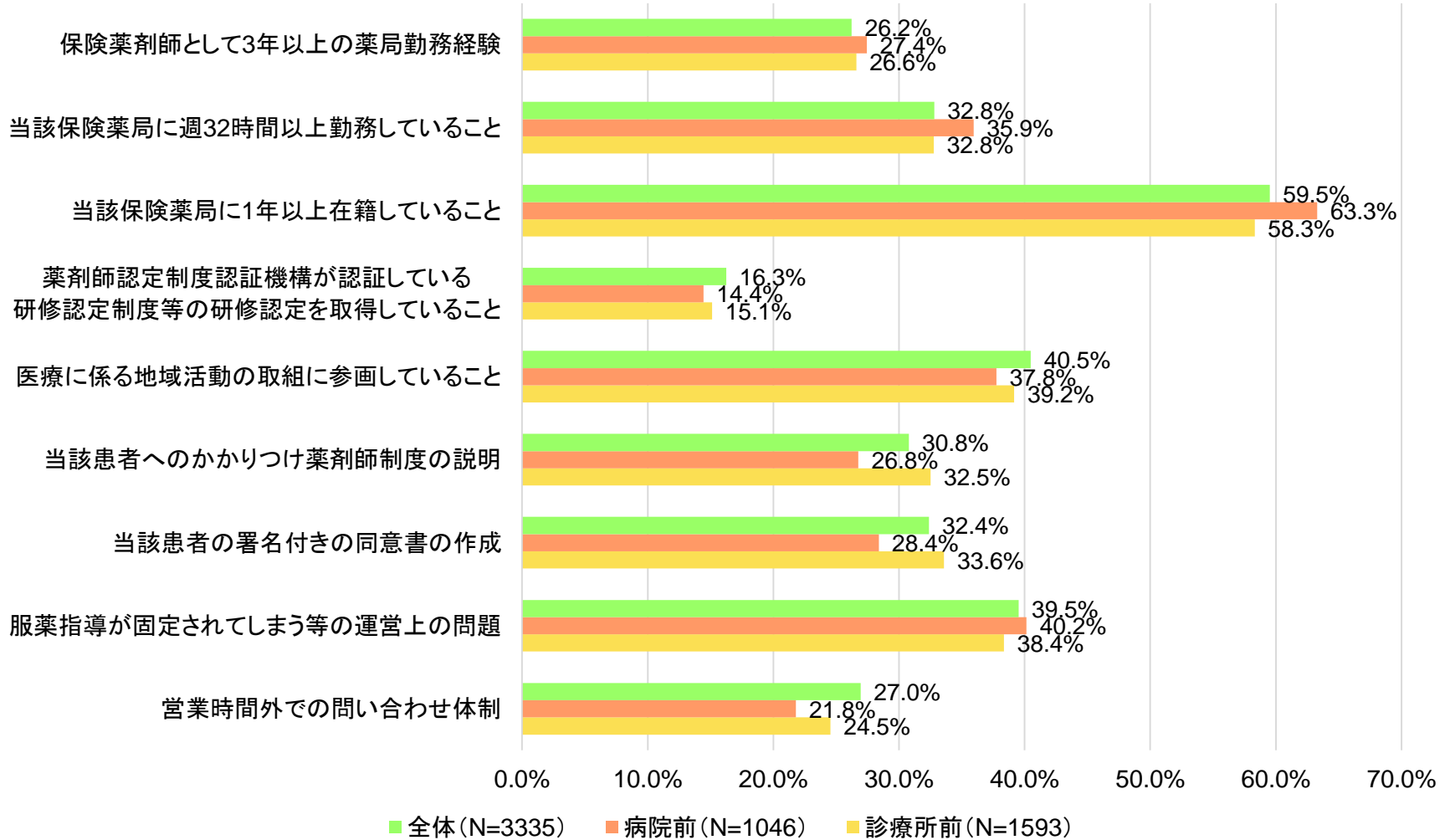
## その他

- ・患者様側がメリットを理解しにくい。・薬剤師のプライバシー。
- ・対応や、かかりつけになるための研修の時間の確保。
- ・かかりつけ薬剤師へのインテリジェントフィー。
- ・シフト制の為、かかりつけ薬剤師が不在になる場合がでてくる。
- ・患者の負担金が増えること。
- ・今まで同様の対応をしているのに、かかりつけになる事で患者負担が増えること。
- ・薬剤師業務の偏りがでている。
- ・仕事のキャパ的にこれ以上抱えきれない。
- ・薬剤師を選べないと言われること。
- ・ストーカー問題。
- ・地域活動の項目をもっと具体的かつ分かりやすく。
- ・かかりつけ薬剤師指導料算定の説明。
- ・疑義照会、残薬調整、分包、飲みやすさの工夫など直接接する時以上に時間を割く。
- ・制度としてかかりつけでない方とサービスに差異がないこと。
- ・人員配置の点で、異動などが困難になってしまうこと。
- ・患者認知度が低い。
- ・平日の週単位の時間の制限。
- ・在宅業務で店舗外にでていることが多い。
- ・患者遠方転居等によるかかりつけ薬剤師引き継ぎなど、継続的なフォロー体制。
- ・初回来局時に同意がとれないこと。
- ・退職時の引継ぎ。
- ・負担割合における不平等(公費で無料の患者にまったく負担がないなど))。・一人薬剤師店舗。
- ・かかりつけ患者にかけることが出来る時間が少なすぎる事。
- ・在宅など薬局外業務を実施している際に該当患者に対応できない。
- ・服薬指導が固定されてしまう事で他の薬剤師の視点が失われる。
- ・働き方改革に矛盾する。薬歴もつけているのだからかかりつけ「薬局」にすればいい。

# 調査結果 かかりつけ薬剤師

問8. かかりつけ薬剤師を推進する上で課題となる点をお教えてください。＜複数回答可＞＜必須＞

○全体…3335件 ○病院前…1046件 ○診療所前…1593件



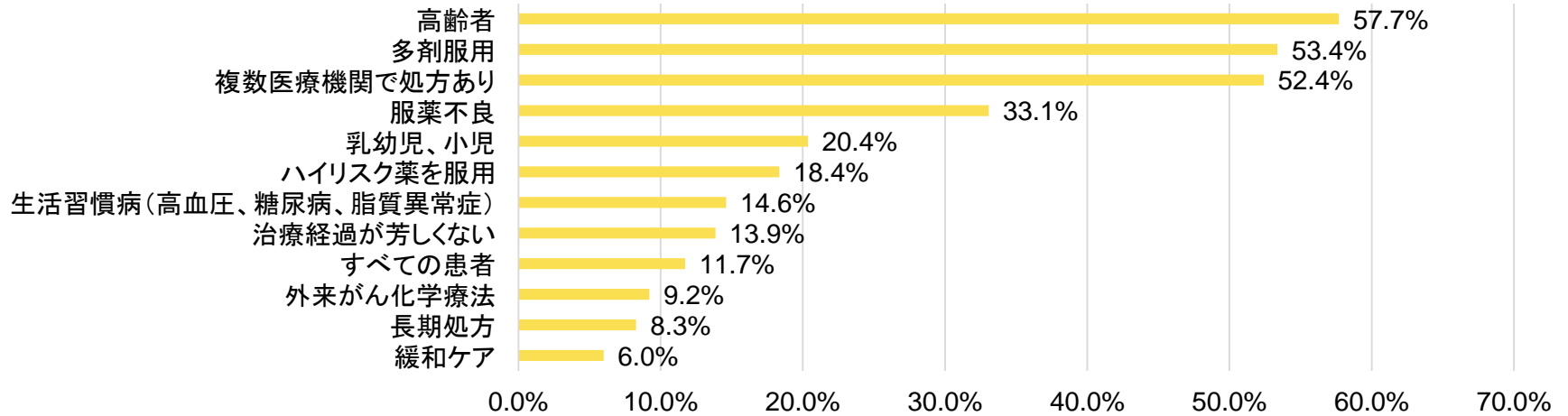
# 調査結果 かかりつけ薬剤師

■かかりつけ薬剤師指導料等の届出がある薬局へお聞きします

問9. どのような患者にかかりつけ薬剤師を持つように進めていますか？

<複数回答可> <必須> N=3335

○すべての患者…391件 ○複数医療機関で処方あり…1748件 ○多剤服用…1780件 ○高齢者…1924件 ○乳幼児、小児…679件  
○服薬不良…1103件 ○治療経過が芳しくない…462件 ○ハイリスク薬を服用…612件 ○長期処方…276件  
○生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症)…487件 ○外来がん化学療法…307件 ○緩和ケア…200件 ○その他…477件



## その他

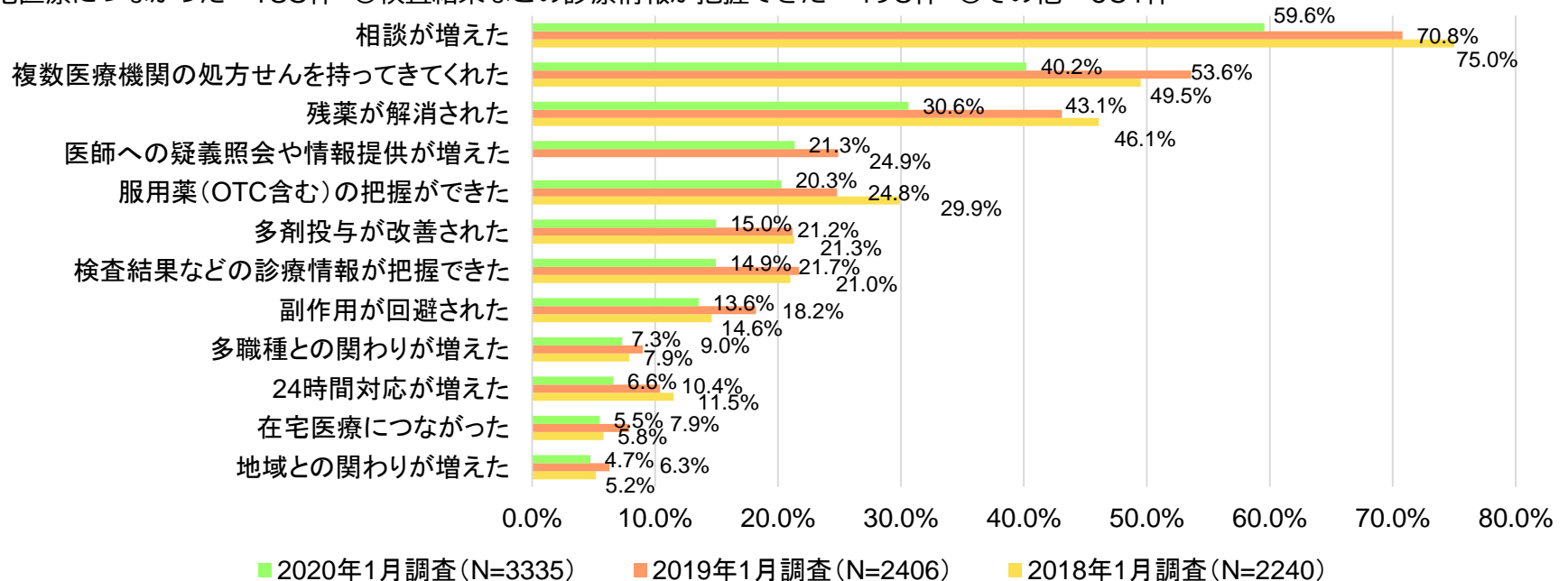
- ・薬剤過敏症歴のある患者、医療情報の相談相手が欲しい患者。・薬剤の相互作用に注意が必要な患者。・アレルギー、副作用歴のある方。
- ・近隣在住者。・難病指定患者。・問い合わせ、疑義照会等があった方。・目の不自由など身体的な不自由。・認知機能低下。・透析患者。
- ・訪問患者さまのご家族など、介護で薬局に薬を取りに行くのが困難な方。・外国人の患者さんで、英語投薬などのフォローが必要な方。
- ・定期処方がある方。・他薬局で調剤された内容についての質問が多い患者。・かかりつけ薬剤師を希望される患者様。
- ・一人暮らしの高齢者。・他者とのコミュニケーションに緊張や不安がある方。・新規患者。
- ・1人の薬剤師がその患者の服薬状況を把握するメリットが大きい患者
- ・他科受診がない方、かかりつけ薬局として利用されている方。・他の薬局でかかりつけ薬剤師がいない患者様。信頼を得ている患者。
- ・精神的に不安定になりやすい患者。・相談が多い方や調剤後のフォローが必要な方。・腎臓、膵臓、骨髄移植患者、精神科。・生活保護の患者。
- ・診療報酬上のかかりつけ薬剤師と、本来のかかりつけ薬剤師の意味が異なるため、診療報酬上のかかりつけ薬剤師は推進していない。
- ・治療や健康管理にサポートが必要な患者。・在宅対応患者(臨時処方)・高齢者以外でも服薬の理解が難しい人。
- ・患者様のメリット、利便性を考えると正直薦められない。説明は薬剤師としてどの患者様にも日々懇切丁寧に行っている。

# 調査結果 かかりつけ薬剤師

問10. かかりつけ薬剤師指導料等の算定によって对患者で変化したことを選択ください。

<複数回答可> <必須> N=3335

- 相談が増えた…1986件
- 複数医療機関の処方せんを持ってきてくれた…1341件
- 服用薬(OTC含む)の把握ができた…676件
- 多剤投与が改善された…499件
- 副作用が回避された…452件
- 医師への疑義照会や情報提供が増えた…712件
- 多職種との関わりが増えた…244件
- 地域との関わりが増えた…158件
- 残薬が解消された…1021件
- 24時間対応が増えた…220件
- 在宅医療につながった…183件
- 検査結果などの診療情報が把握できた…498件
- その他…651件



## その他

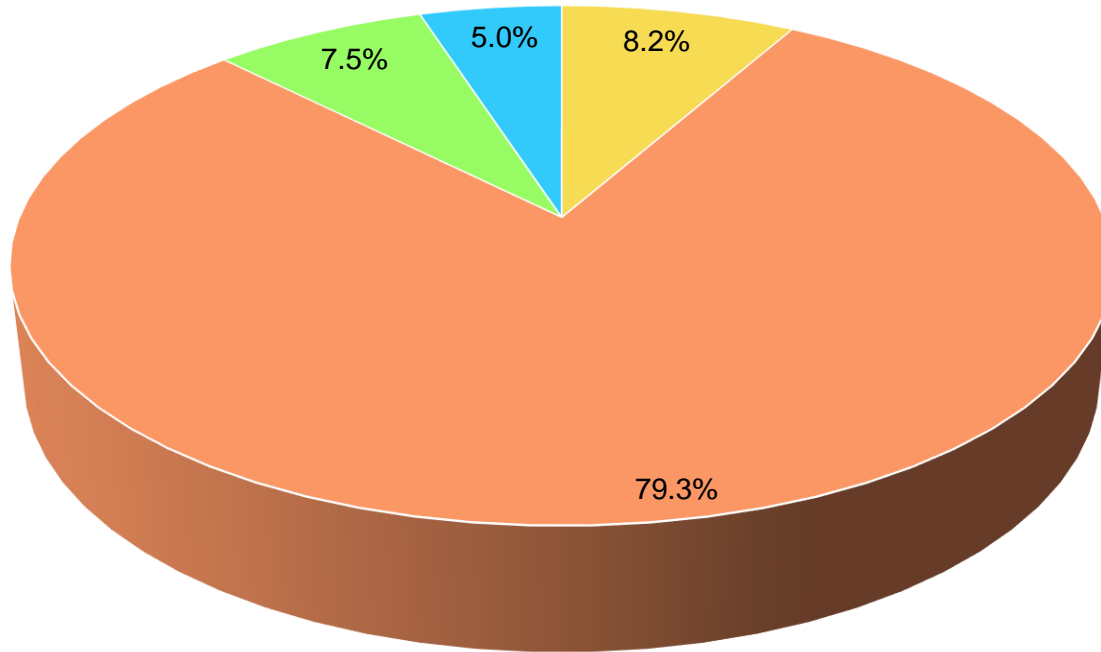
- ・薬剤師への信頼性が増した。
- ・薬とは関係のない話題が増えた。
- ・認知症の早期発見につながった。
- ・患者家族とのかかわりが増えた。
- ・日ごろの不満や体の状態を詳しく教えてくれるようになった。
- ・生活背景や行動パターンの把握ができるようになった。
- ・既往歴の把握ができた。
- ・患者様の背景(家族構成、薬の管理者など)の把握ができた。
- ・患者の不安を払拭できた。
- ・一人でやることによって、話をしやすくなった。
- ・患者に対して尽力する事は当然であり、算定によって変わったことはない。
- ・一部患者で会計が安くなった。
- ・コンプライアンス、アドヒアランス改善。
- ・ストレスが増えた。
- ・ジェネリック推進。
- ・もともとかかりつけのような患者に同意書をいただいたので、実感として変化した感じはない。

# 調査結果 医薬品の管理

問11. 患者に処方されている全ての医薬品を管理できていますか？

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○全てできている…274件 ○概ねできている…2646件 ○あまりできていない…249件 ○できていない…166件



■ 全てできている ■ 概ねできている ■ あまりできていない ■ できていない



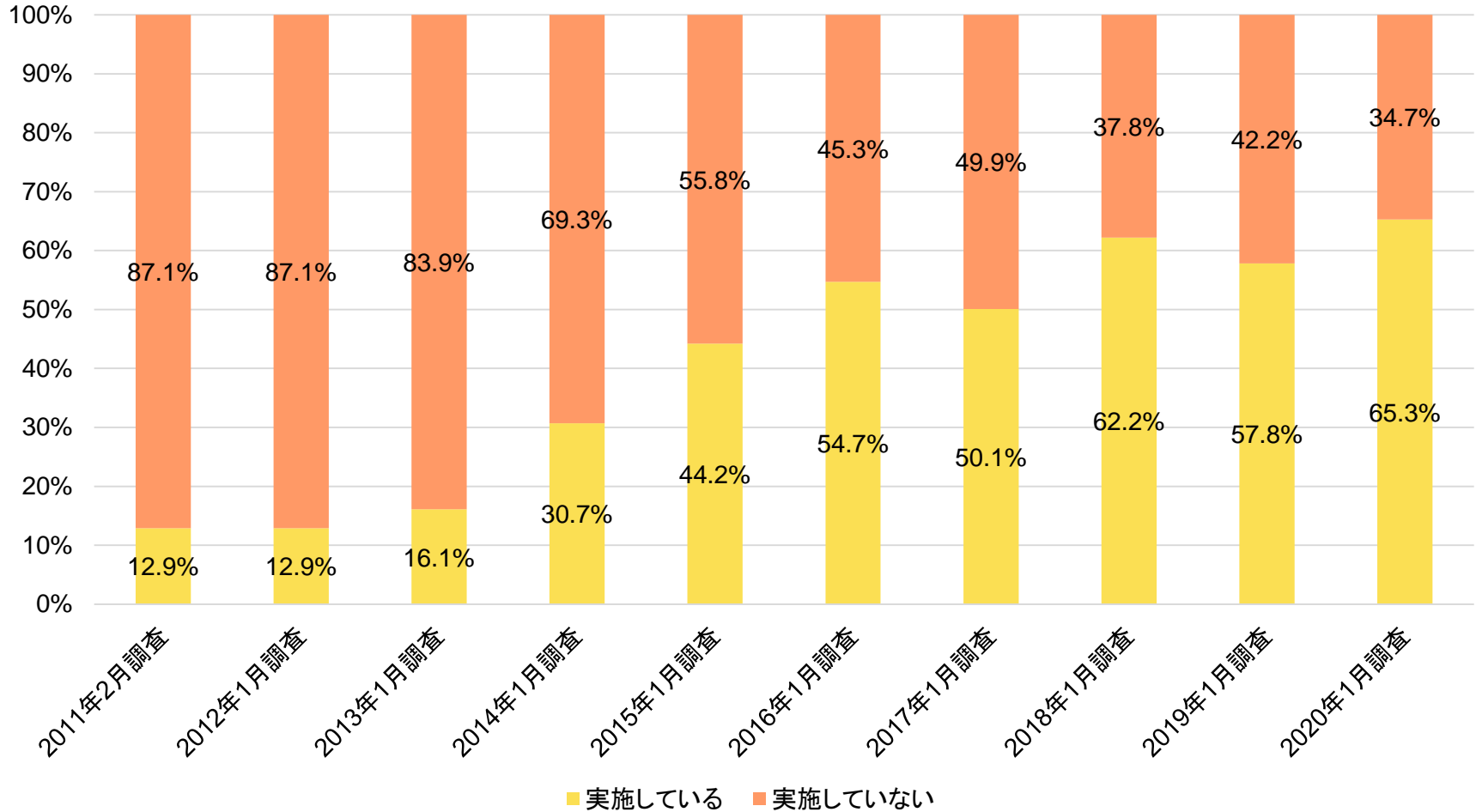
# 調査結果 在宅業務

## ■訪問薬剤管理指導についてお伺いします

問12. 月間(2019年12月)の訪問薬剤管理指導(医療・介護含む)の算定件数をお教え下さい。

<半角数字でご記入ください> <必須> N=3335

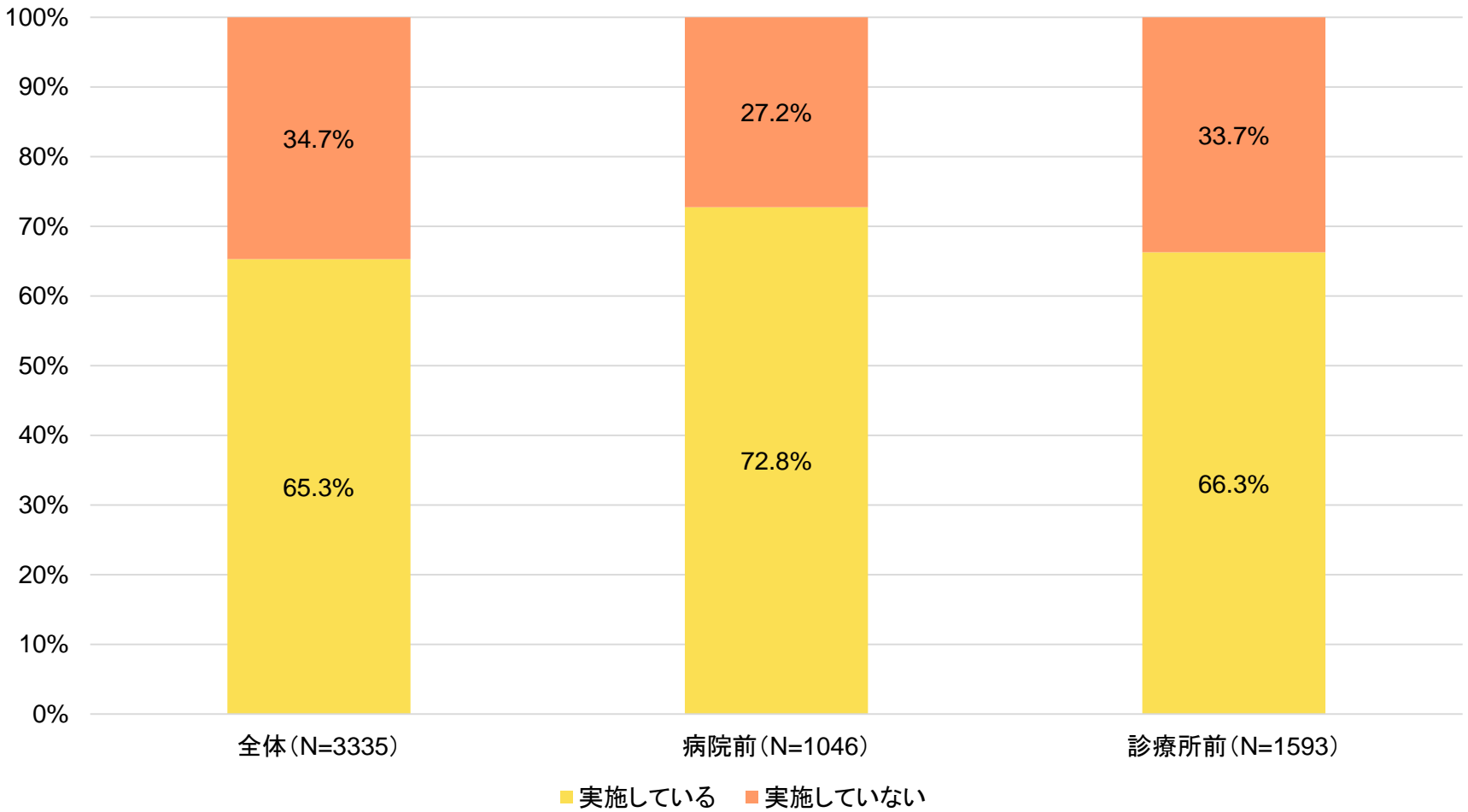
訪問薬剤管理指導を ○実施している…2178件 ○実施していない…1157件



# 調査結果 在宅業務

問12. 月間(2019年12月)の訪問薬剤管理指導(医療・介護含む)の算定件数をお教え下さい。<半角数字でご記入ください> <必須>

- 全体…3335件      訪問薬剤管理指導を ○実施している…2178件    ○実施していない…1157件
- 病院前…1046件    訪問薬剤管理指導を ○実施している…761件    ○実施していない…285件
- 診療所前…1593件    訪問薬剤管理指導を ○実施している…1056件   ○実施していない…537件



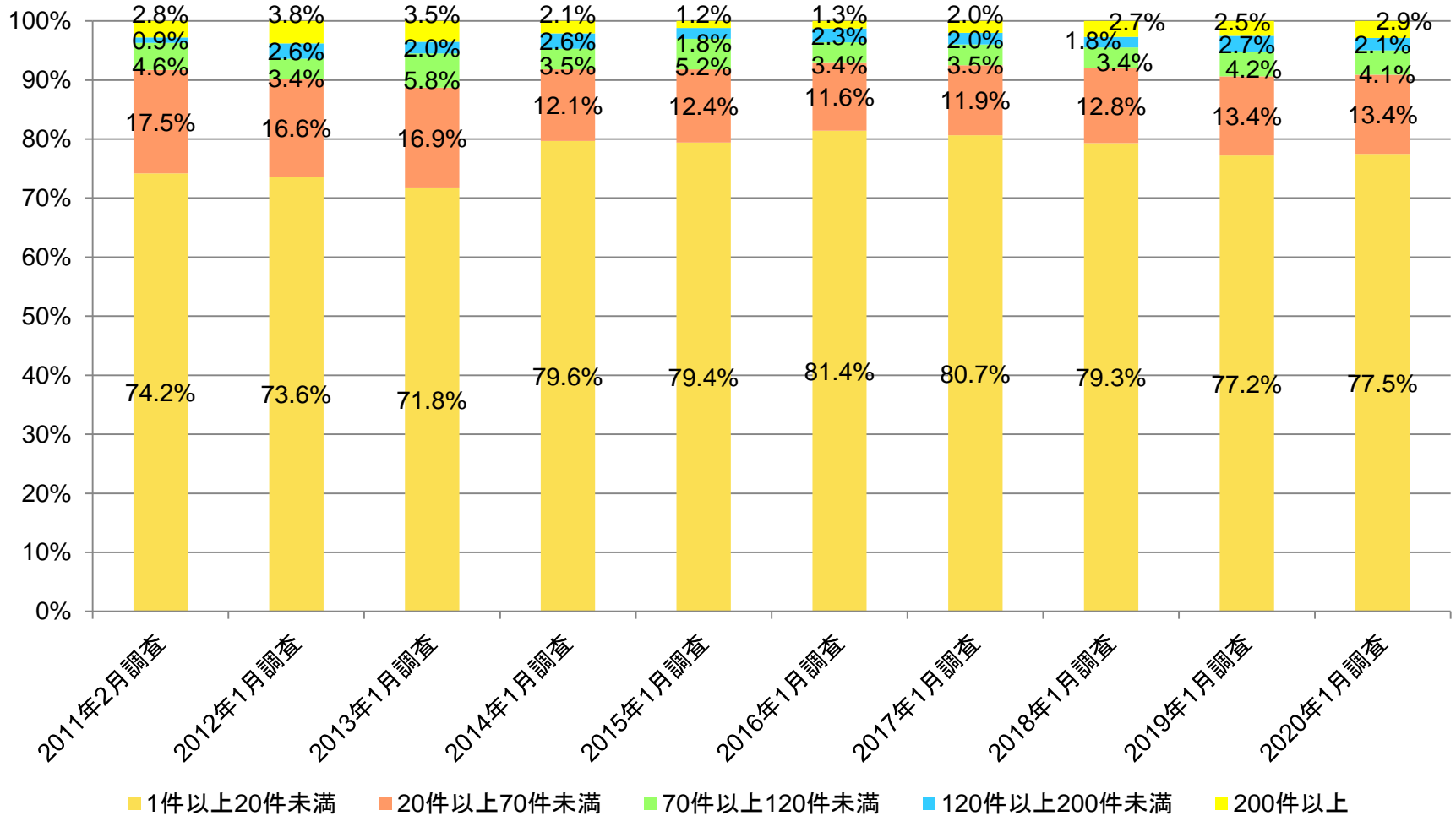
# 調査結果 在宅業務

## ■訪問薬剤管理指導についてお伺いします

問12. 月間(2019年12月)の訪問薬剤管理指導(医療・介護含む)の算定件数をお教え下さい。

<半角数字でご記入ください> <必須> N=2178

○1件以上20件未満…1689件 ○20件以上70件未満…291件 ○70件以上120件未満…89件 ○120件以上200件未満…46件  
○200件以上…63件

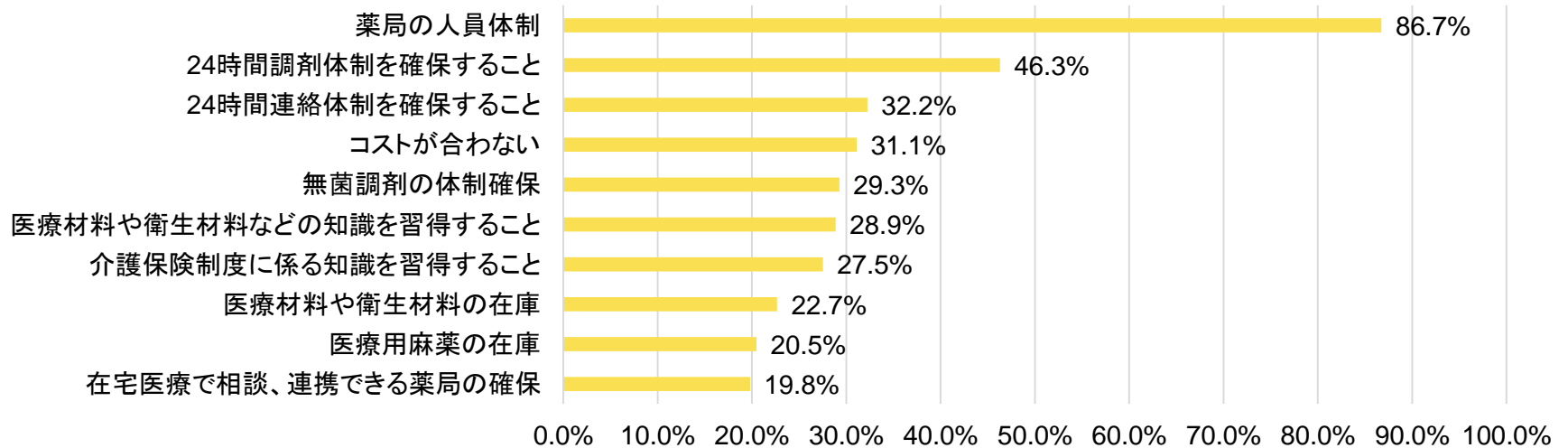


# 調査結果 在宅業務

問13. 在宅医療に取り組む上での課題についてお教えてください。

<複数回答可> <必須> N=3335

○24時間調剤体制を確保すること…1544件 ○24時間連絡体制を確保すること…1075件 ○薬局の人員体制…2892件  
 ○在宅医療で相談、連携できる薬局の確保…660件 ○コストが合わない…1037件 ○無菌調剤の体制確保…976件  
 ○介護保険制度に係る知識を習得すること…918件 ○医療用麻薬の在庫…683件 ○医療材料や衛生材料などの知識を習得すること…963件  
 ○医療材料や衛生材料の在庫…756件 ○その他…86件



## その他

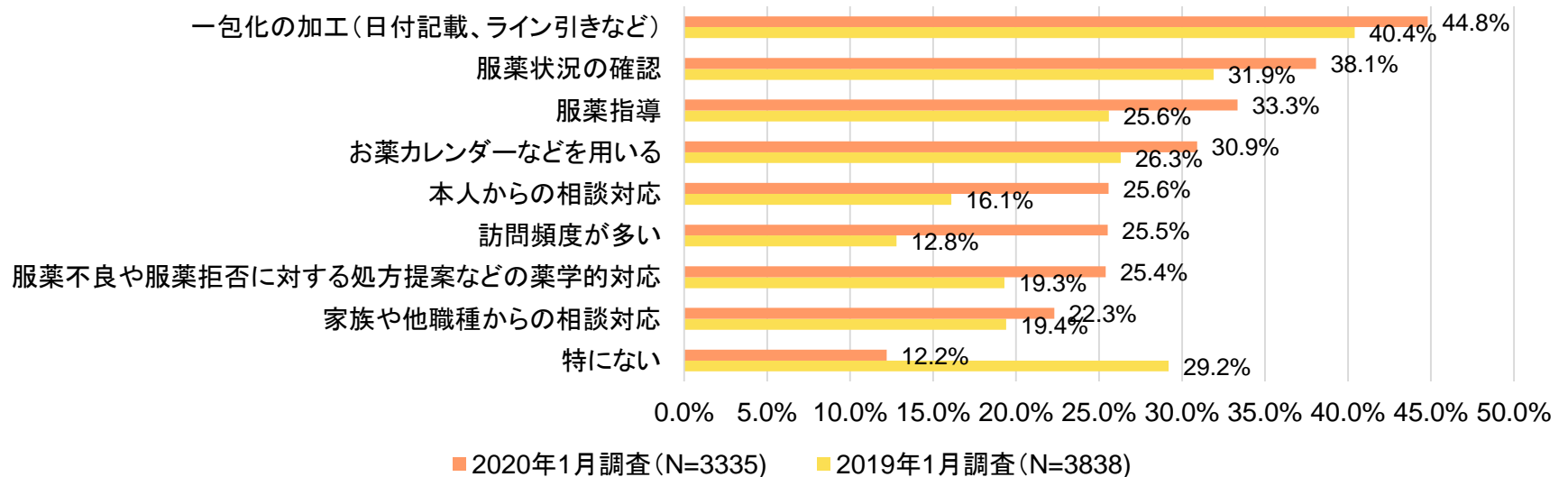
- ・無菌調剤にかかるコストが回収できていないこと。・訪問用の車などハード面。・会社の体制。
- ・訪問診療する病院とのつながりが無い。・独居の方の生活に合わせる事が難しい。・処方医との信頼関係。・他職種との連携。・場所が遠い。
- ・人材と時間の確保。・在宅実施をしていることの周知。・在宅医療が必要な患者の来局、紹介がない。・在宅案件を頂くまでの営業力。
- ・処方元である病院及び近診療所が積極的に在宅医療をしていない。
- ・車の運転ができるものが一人しかおらず、その一人に負担がかかっている。
- ・契約書、Drの指示が必要なこと。・交通費の負担。・緩和ケアの知識の習得。・医師からの在宅訪問許可、理解。
- ・患者負担金、自己負担割合が高い患者。・やはり法的知識が不足、医療材料の供給について分からない事がある。・休日、連休対応。
- ・患者もしくは家族が協力的かどうか。・患者への周知不足、「追加で負担金が増える」ことへの患者側の経済面。・患家の往復にかかる時間。
- ・会計の徴収方法(現金のみの希望利用者で未収などのトラブル)。・介護請求面でハードルが高い、書類が多い。・医師側の認識不足。
- ・一部の薬剤師しか在宅医療に取り組むことを理解していないこと。・医師の往診が不可能。介護職とのつながり。地域の取り組みが遅れている。

# 調査結果 在宅業務

問14. 通常の訪問薬剤管理指導に比べて認知症患者で手間がかかる業務についてお教えてください。

<複数回答可> <必須> N=3335

○特にない…407件 ○お薬カレンダーなどを用いる…1031件 ○訪問頻度が多い…851件 ○服薬指導…1112件  
○一包化の加工（日付記載、ライン引きなど）…1494件 ○服薬状況の確認…1270件 ○本人からの相談対応…853件  
○家族や他職種からの相談対応…744件 ○服薬不良や服薬拒否に対する処方提案などの薬学的対応…847件 ○その他…230件



## その他

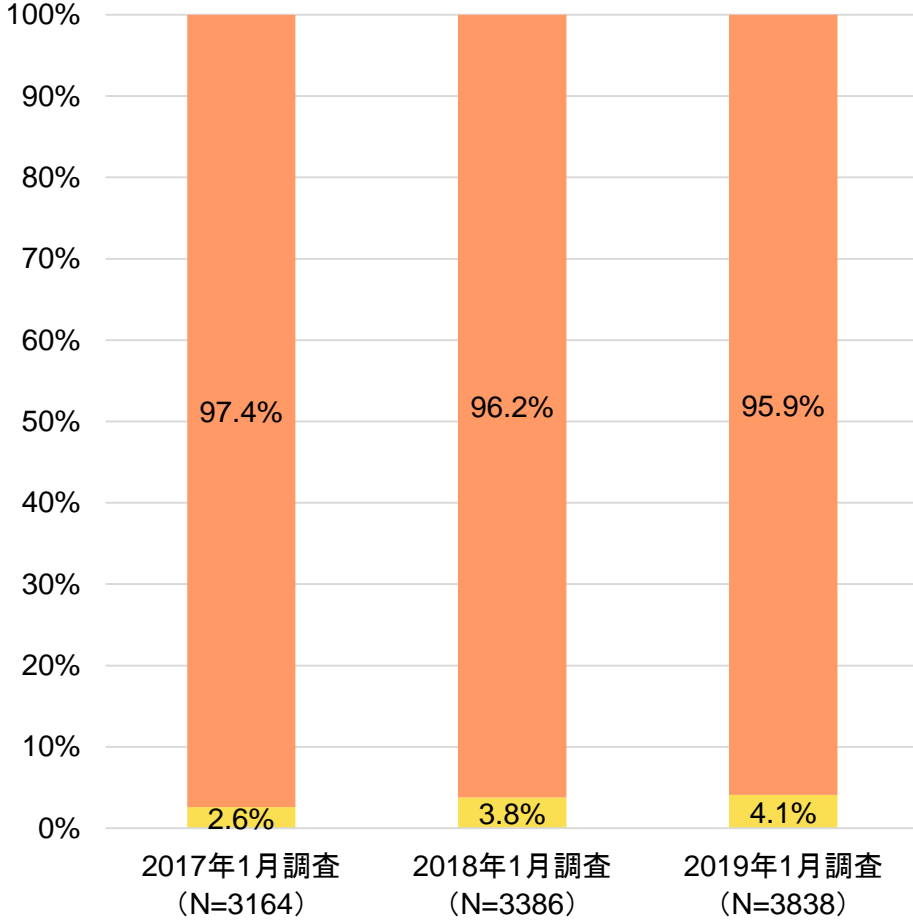
- ・薬局業務と関係ない相談。・薬が紛失して無くなってしまう。・約束の訪問予定時間に不在で、何度か伺わないといけないことがある。
- ・服薬介助までは出来ないの、薬が本当に飲めているかどうか把握しにくい。・カレンダーを使えないための、個人に合わせた服薬支援。
- ・副作用チェックが困難。・認知症患者に信頼頂ける為のコミュニケーション力、提案力。・同じ話が繰り返され滞在時間が長くなる。
- ・適切に服用していただくための家族、多職種への対応。・地域支援センターとの連携。
- ・多職種への訪問指導内容報告。・請求が過重にされてるのではないかと等支払いに関する説明。
- ・残薬回収、日数調整の頻度が多い。・契約時の説明、訪問時の戸締り、生活環境の汚染対策。・外用薬の使用法に対しての指導、工夫。
- ・喜怒哀楽がはっきりしているので、そういった意味での対応が大変。・患者様から得られる情報が少なく、報告書の内容に困ること。
- ・患者個々の状況に合わせて服薬管理を考えていくこと。・家族の協力を得にくい。・一包化に服用日を書き込むこと。
- ・ヘルパーとの混同により食事について相談うける。・こちらが説明してもすぐに忘れるため患者のことが信用できない。

# 調査結果 無菌調剤体制

問15. 無菌調剤の体制について教えてください。

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○自薬局に無菌設備あり…98件 ○共同利用で対応可…441件 ○対応できない…2796件



■ 無菌設備あり ■ 無菌設備なし

■ 自薬局に無菌設備あり ■ 共同利用で対応可  
■ 対応できない

# 調査結果 無菌調剤体制

問15. 無菌調剤の体制についてお教えてください。

(1)「自薬局に無菌設備あり」と回答した方にお聞きします。

無菌室の共同利用を行っていますか？ <該当する項目を選択してください> N=97

○はい…17件 ○いいえ…80件

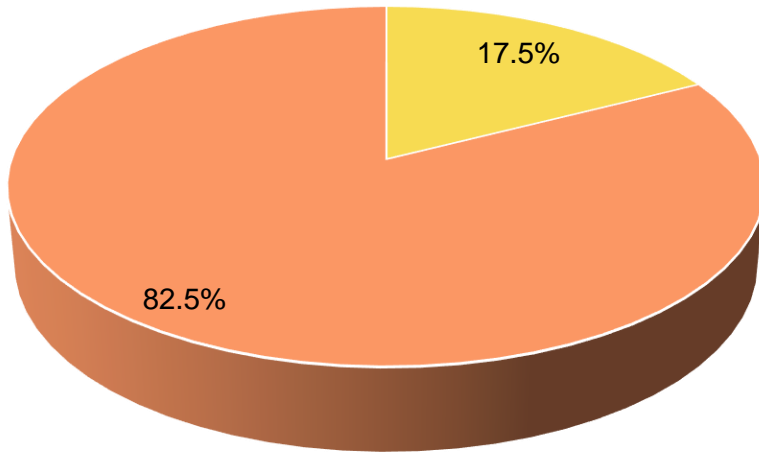
(2)「対応できない」と回答した方にお聞きします。

無菌調剤室の共同利用で連携できる薬局はありますか？ <該当する項目を選択してください> N=2603

○ある…295件 ○ない…1491件 ○わからない…817件

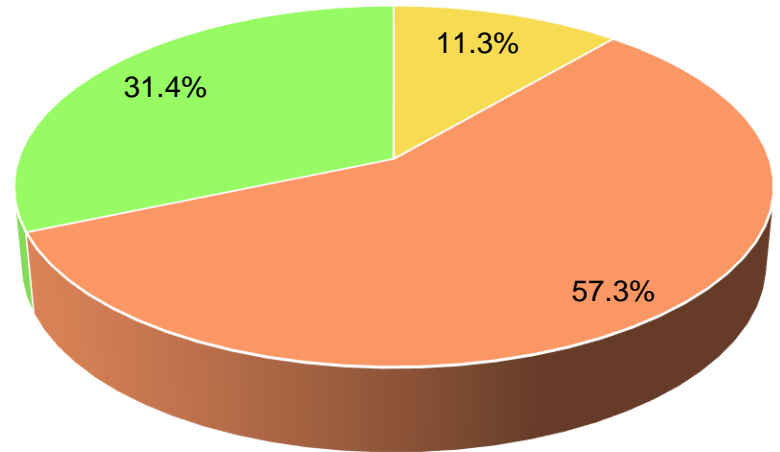
「自薬局に無菌設備あり」と回答した方  
無菌室の共同利用を行っていますか？

「対応できない」と回答した方  
無菌調剤室の共同利用で連携できる薬局はありますか？



2020年1月調査  
(N=97)

■ はい ■ いいえ



2020年1月調査  
(N=2603)

■ ある ■ ない ■ わからない

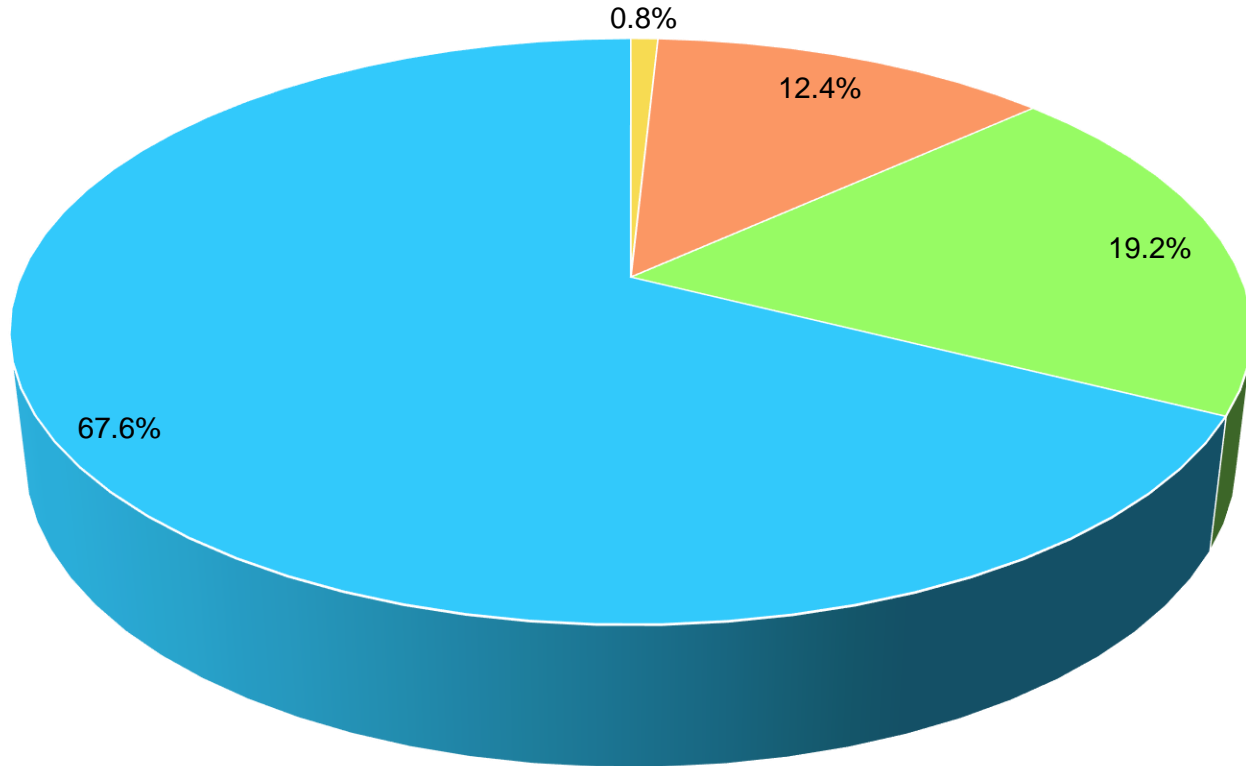
# 調査結果 医療機関との連携

問16. 入院時・退院時において医療機関⇄薬局間の連携を行っていますか？

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○ルーチンで行っている…28件 ○不定期だが必要に応じて行っている…415件 ○行ったことがある…639件

○行ったことがない…2253件



■ ルーチンで行っている
 ■ 不定期だが必要に応じて行っている
 ■ 行ったことがある
 ■ 行ったことがない



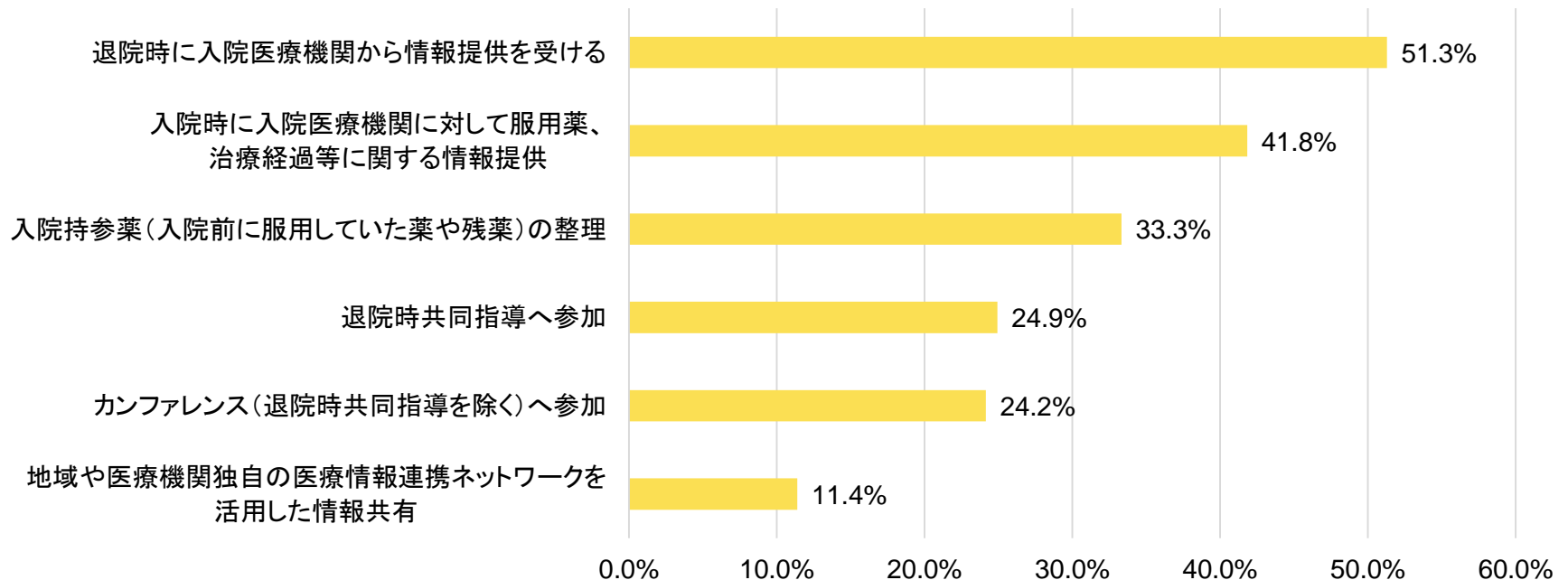
# 調査結果 医療機関との連携

問17. これまでに行ったことがある方にお聞きします。

入院時・退院時における医療機関⇄薬局間の連携で、実際に行っている内容について教えてください。

<複数回答可> N=1035

- 入院時に入院医療機関に対して服用薬、治療経過等に関する情報提供…433件
- 入院持参薬(入院前に服用していた薬や残薬)の整理…345件
- 退院時共同指導へ参加…258件
- カンファレンス(退院時共同指導を除く)へ参加…250件
- 地域や医療機関独自の医療情報連携ネットワークを活用した情報共有…118件
- 退院時に入院医療機関から情報提供を受ける…531件
- その他…12件



## その他

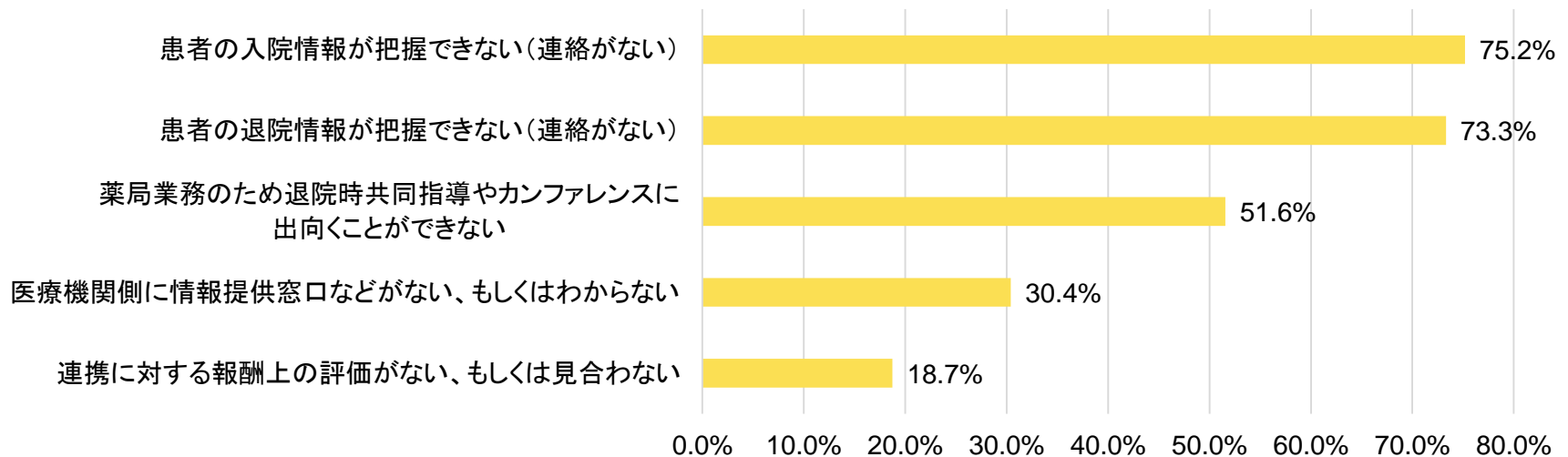
- ・病院研修における地域包括病棟業務。・定期連絡は無いので、必要に応じて退院時処方や状態を情報提供いただく。
- ・退院処方と入院持参薬の一包化など服薬上の問題点の確認、改善案の提示。
- ・退院時に注意点がある患者さんについて連絡・指導内容を受けた。
- ・退院時処方とその後の処方変更(先発品・後発品の違いなど含む)や残薬についての対応。・お薬手帳による情報共有。
- ・退院時に新しい薬が処方されるときに、連絡を頂くことがある。

# 調査結果 医療機関との連携

問18. 入退院時における医療機関との連携を推進する上での課題についてお教えてください。

<複数回答可> <必須> N=3335

- 患者の入院情報が把握できない(連絡がない)…2508件
- 患者の退院情報が把握できない(連絡がない)…2445件
- 薬局業務のため退院時共同指導やカンファレンスに出向くことができない…1720件
- 連携に対する報酬上の評価がない、もしくは見合わない…625件
- 医療機関側に情報提供窓口などが無い、もしくはわからない…1014件
- その他…65件



## その他

- ・病院薬剤師がカンファレンスにこれない。・入退院時のカンファレンスに参加したいが、医療機関から声が掛からないので行けない。
- ・入退院が多く、人間的にも物理的にも難しい。・退院時処方について問い合わせても、薬剤部で処方理由確認できないケースが多い。
- ・入院中の状況をまとめた様式のように入院になった患者の情報をまとめる様式があれば薬局に求めやすいのではないかと。
- ・退院時共同指導やカンファレンスの場がない。・退院時共同指導に対する医療機関側の取り組みが見えない。・時間が合わず出向けない。
- ・制度自体が非現実的手法を求めているため困難である。TV会議が必要。・重要なため可能な限り参加しているが日業業務がタイトになる。
- ・情報共有をお薬手帳でおこなっているため患者の持参忘れがあると把握しきれない。・院内処方がお薬手帳に記載されない。
- ・医療機関側の認知、理解の不足。・ケアマネさんからの連絡がないとわからない。・医療機関側の忙しさ。
- ・医療機関側が必要性を理解していない。・Dr、Nsとの連携は出来ているが、病院薬剤師との連携が乏しい。
- ・医療機関において義務ではないため、連絡も窓口もないため薬局で把握するのは現状不可能。・TV会議等実施のためのIT設備がない。
- ・ケアマネージャーからや家族からの連絡はあり、病院よりこない。・カンファレンス内での薬説明のための時間の確保。

# 調査結果 往診同行

問19. 直近3カ月で往診同行を行いましたか？  
 <該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

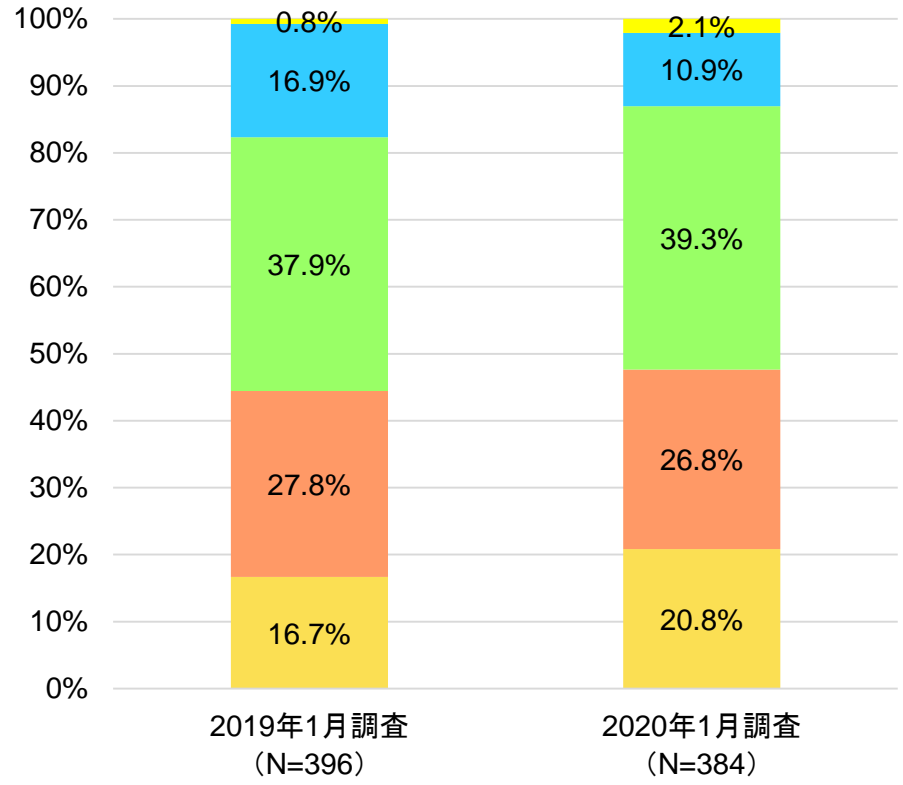
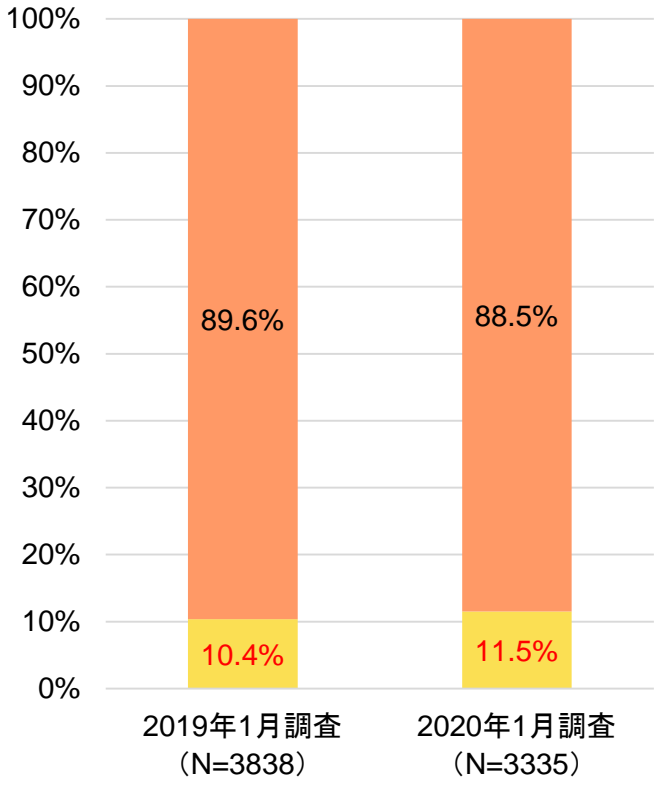
○はい…385件 ○いいえ…2950件

問19で「はい」と回答した方にお聞きします。

(1)往診同行時における「処方提案」もしくは「疑義照会にあたる情報提供」などの実施状況についてお教えてください。

<該当する項目を選択してください> N=384

○ほぼある…80件 ○よくある…103件 ○ある…151件 ○ほとんどない…42件 ○ない…8件



■ はい ■ いいえ

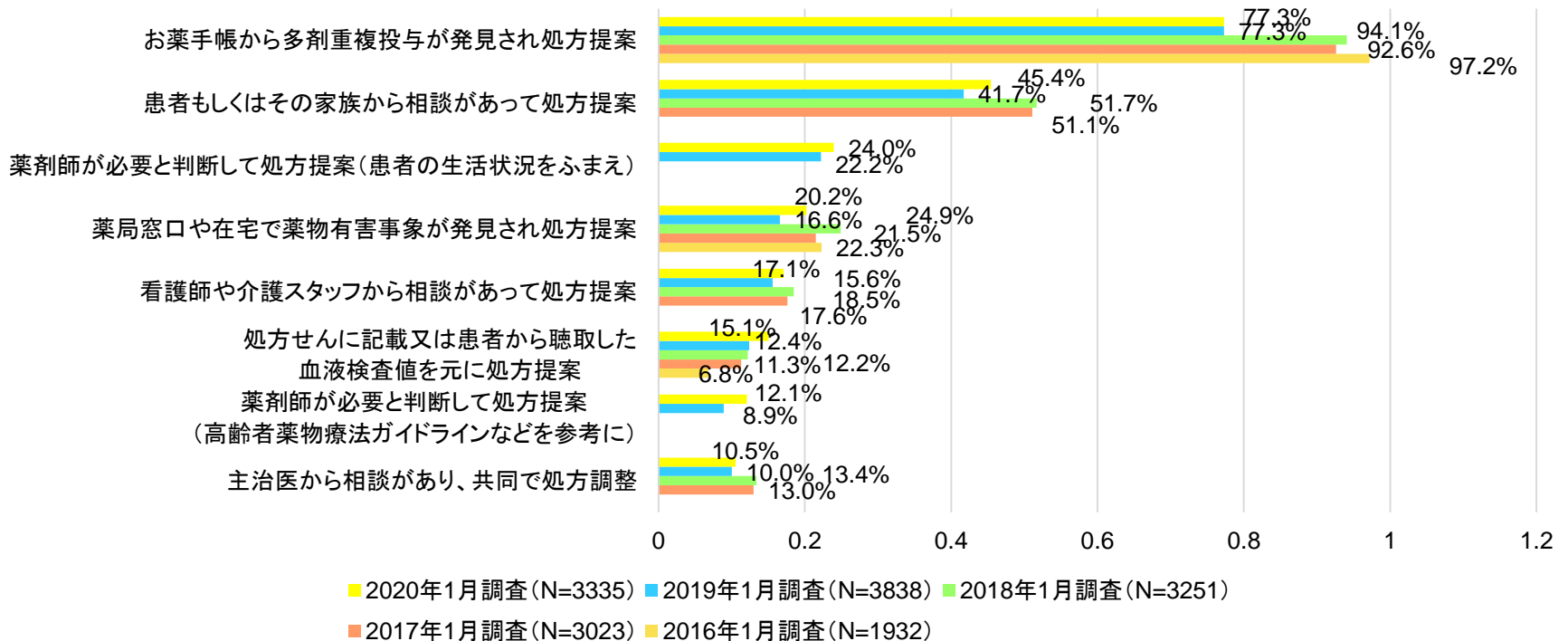
■ ほぼある ■ よくある ■ ある ■ ほとんどない ■ ない

# 調査結果 ポリファーマシーの取組

問20. 多剤投与の改善に薬剤師が介入した事例についてお教えてください。

<複数回答可> <必須> N=3335

- 処方せんに記載又は患者から聴取した血液検査値を元に処方提案…502件
- 薬局窓口や在宅で薬物有害事象が発見され処方提案…675件
- お薬手帳から多剤重複投与が発見され処方提案…2578件
- 患者もしくはその家族から相談があって処方提案…1515件
- 看護師や介護スタッフから相談があって処方提案…570件
- 主治医から相談があり、共同で処方調整…351件
- 薬剤師が必要と判断して処方提案(高齢者薬物療法ガイドラインなどを参考に)…403件
- 薬剤師が必要と判断して処方提案(患者の生活状況をふまえ)…799件
- その他…144件



## その他

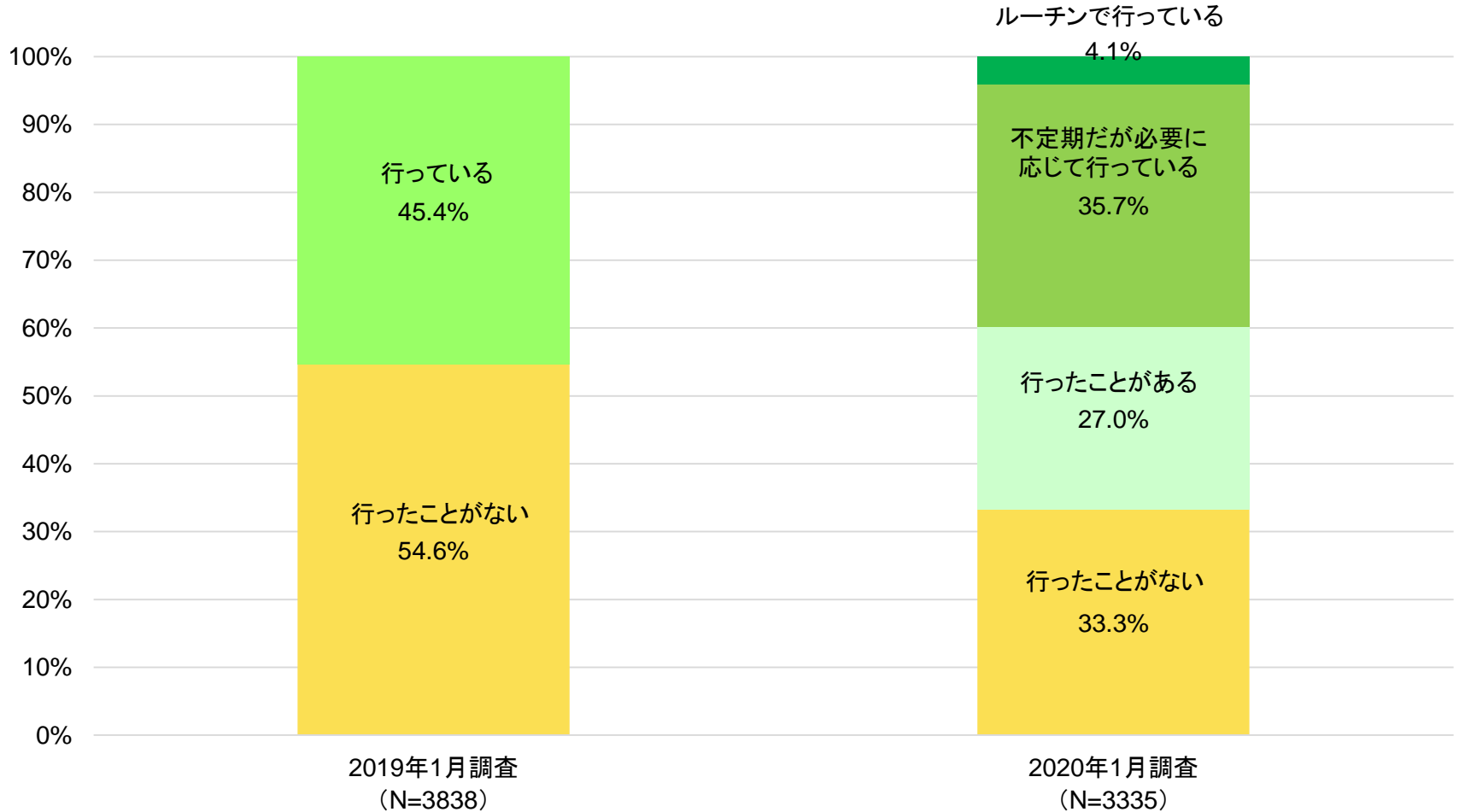
- ・なんとなく続けているだけで明らかに必要ない患者を説得して医師に申し出てもらい一部処方削除。
- ・経済的理由からの処方提案。
- ・併用禁忌などの飲みあわせ上問題で。・服薬開始時の病名・適応がはっきりせず、不調や再燃の兆候がみられない。
- ・薬剤師会からの依頼。
- ・治療効果が疑わしかった為に服薬情報提供書にて提案。
- ・ロキソニンが毎食後で継続処方されていたので、家族の方に必要性の確認

# 調査結果 服用期間中のフォロー

問21. 服用期間中のフォローアップを行っていますか？

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○ルーチンで行っている…136件 ○不定期だが必要に応じて行っている…1191件 ○行ったことがある…899件  
○行ったことがない…1109件

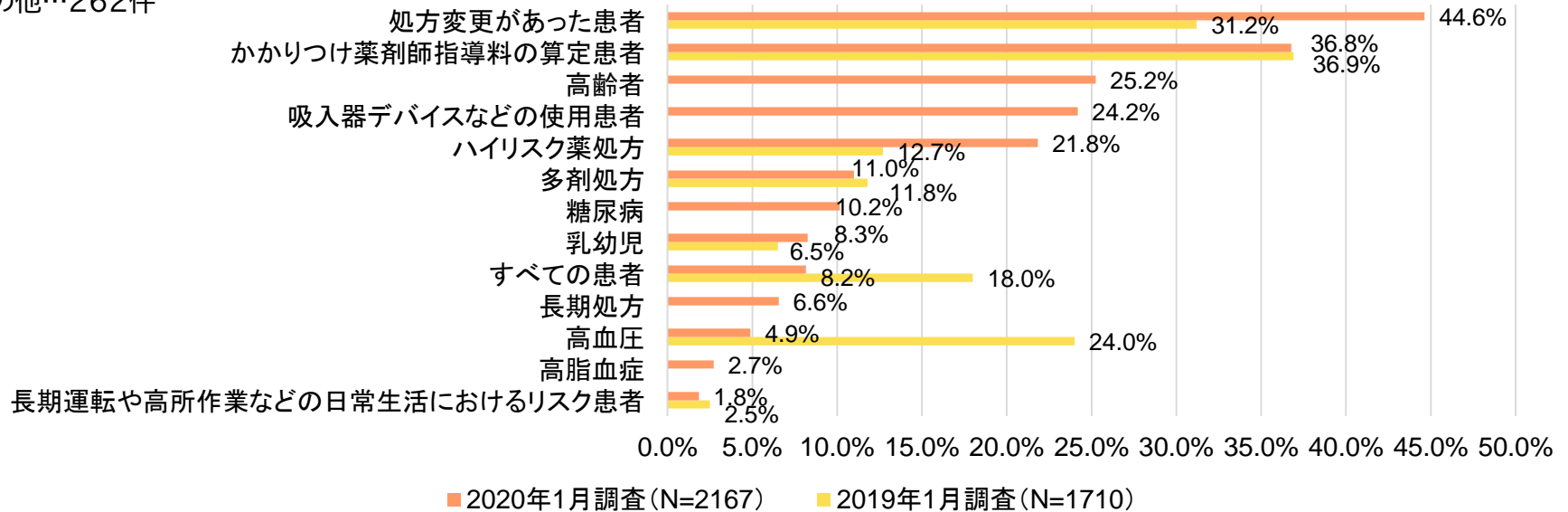


# 調査結果 服用期間中のフォロー

これまでに行ったことがある方にお聞きします。

(1)対象患者について教えてください。＜複数回答可＞ N=2167

○すべての患者…177件 ○かかりつけ薬剤師指導料の算定患者…797件 ○処方変更があった患者…967件 ○糖尿病…220件  
○高血圧…106件 ○高脂血症…59件 ○高齢者…547件 ○多剤処方…238件 ○ハイリスク薬処方…473件 ○乳幼児…179件  
○長期処方…142件 ○吸入器デバイスなどの使用患者…524件 ○長期運転や高所作業などの日常生活におけるリスク患者…39件  
○その他…262件



## その他

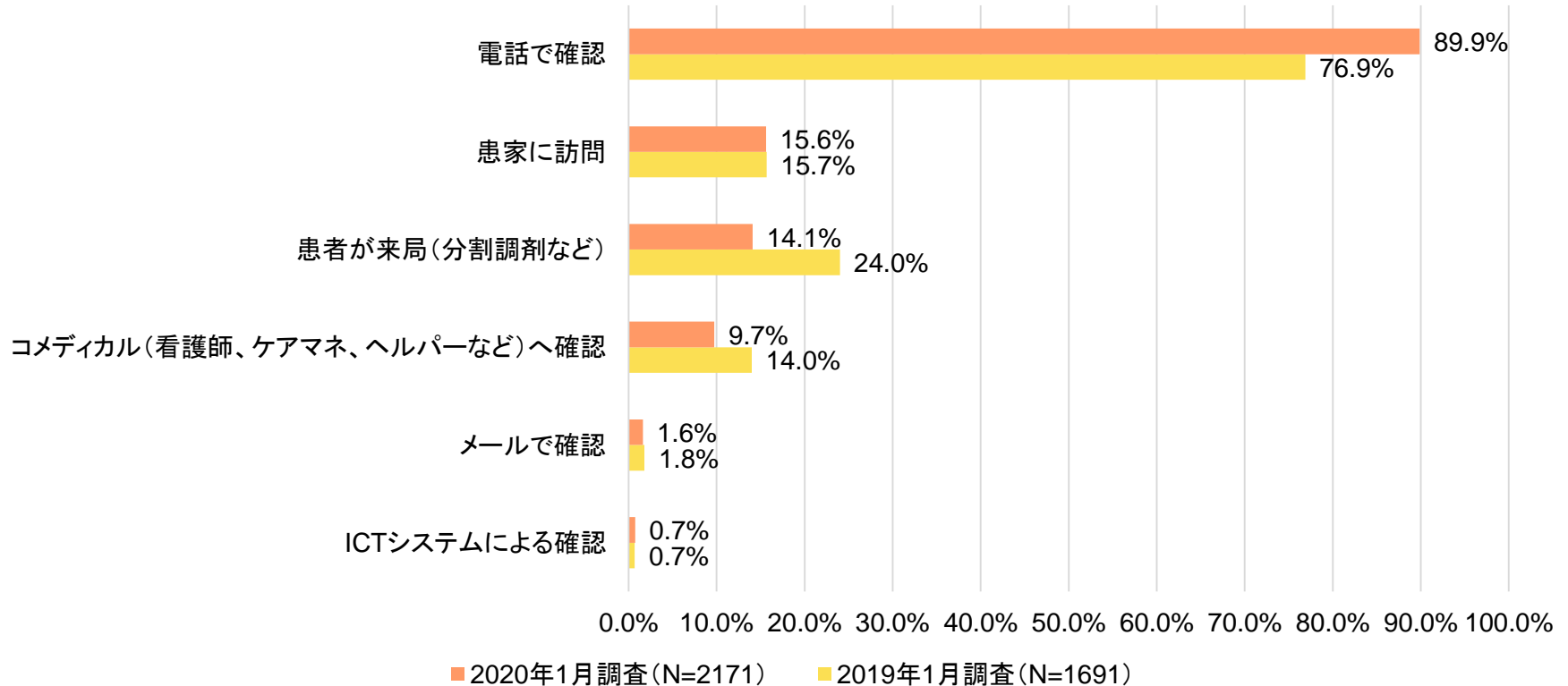
- ・疼痛がある患者や医療用麻薬が処方されている患者。・臨時薬と定期薬の併用にあたり服用状況把握。・DSU対象患者。・C型肝炎患者。
- ・類薬でのアレルギー歴や副作用発生頻度、リスクが高い患者。・薬剤管理に不安のある患者。・薬の変更時など。・訪問管理指導算定患者。
- ・薬の効果が実感できないと訴えがあった患者。・認知能力が低下していると思われる患者。
- ・術後の経過確認。・分割処方の方。・知的障害の患者様。・透析患者。・小児の剤形によるアドヒアランス確認。
- ・新患で初回服用。・精神疾患。・前立腺癌患者。
- ・相互作用が懸念される合併症がある。・終末期患者の体調確認、服薬状況の確認。・自己注射が行えてるか。・施設の入居患者等。
- ・在宅訪問患者。・抗がん剤服用患者。・抗インフルエンザ薬が処方された患者。・後発医薬品を調剤した患者。・狭心症。
- ・医師の指示のもと、適応外で調剤したケースなど。・回収命令などで服用歴のある患者。・LINE連携患者。・ピロリ菌除菌治療患者。
- ・OTCに関連した事例が多い。・往診同行の患者。・ハイリスク薬かつ併用注意薬かつ常用量超えの新規処方だった。

# 調査結果 服用期間中のフォロー

これまでに行ったことがある方にお聞きします。

(2)実施方法についてお教えてください。＜複数回答可＞ N=2171

○電話で確認…1951件 ○メールで確認…35件 ○患者に訪問…339件 ○患者が来局(分割調剤など)…306件  
○コメディカル(看護師、ケアマネ、ヘルパーなど)へ確認…211件 ○ICTシステムによる…14件 ○その他…16件



## その他

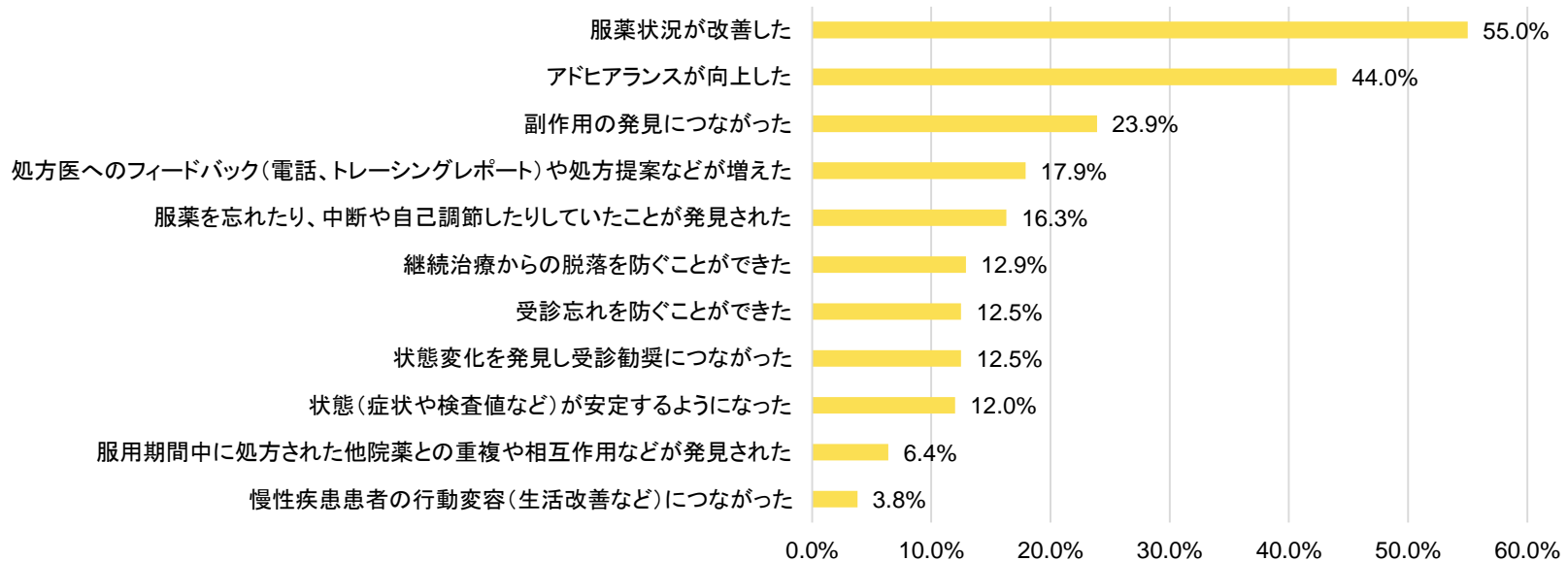
- ・来局時に確認。・透析室に訪問。・他科受診による来局時。・新潟市Net4U活用。・施設に訪問。
- ・患者家族来局時にお伝え。・往診時に確認。・びわ湖あさがおネットによる確認。
- ・いきいき笑顔ネットワーク。・SNS。・OTC購入時。・Medical Care Station使用。・LINEを用いている。・FAXで確認。

# 調査結果 服用期間中のフォロー

これまでに行ったことがある方にお聞きします。

(3)実施することによって患者の薬物療法にどのような影響がありましたか？<複数回答可> N=2091

- 服薬状況が改善した…1151件 ○アドヒアランスが向上した…921件 ○副作用の発見につながった…500件
- 状態(症状や検査値など)が安定するようになった…250件 ○慢性疾患患者の行動変容(生活改善など)につながった…80件
- 状態変化を発見し受診勧奨につながった…262件 ○継続治療からの脱落を防ぐことができた…269件
- 受診忘れを防ぐことができた…262件 ○処方医へのフィードバック(電話、トレーシングレポート)や処方提案などが増えた…375件
- 服薬を忘れて、中断や自己調節したりしていたことが発見された…340件
- 服用期間中に処方された他院薬との重複や相互作用などが発見された…134件 ○その他 …71件



## その他

- ・来局忘れを防ぐことができた。・服用中の不安など相談に乗ることができた。対応後に気軽に相談していただけるようになった。
- ・服薬状況、残薬状況、疼痛コントロールが確認できた。・副作用の発現なく症状も改善したことを確認できた。
- ・早すぎる受診を抑えて過剰な残薬を防いだ。・在宅の介入につながった。・在庫の適正管理につながった。
- ・吸入方法の確認がとれた。・患者自身の安心感につながった。・患者参加型の治療になった。
- ・患者からも質問・相談の連絡が入るようになった。・その後の医療機関への受診がスムーズに行えた。入院していることが分かった。
- ・その患者さんとのコミュニケーション力がアップした。・あまり変化はなく電話の必要はないと言われた。



薬局での取り組みや今後薬剤師の在り方についてお伺いします  
問22. 調剤報酬の点数はつかないが必要な業務として取り組んでいるものがあれば教えてください。

- ・喘息やCOPD患者に対する吸入指導。
- ・緑内障禁忌薬処方の際、眼科医に服用の可否を問い合わせ。
- ・予防医療への取り組み薬局で行う血圧測定の結果に対しての受診勧奨医薬品の適正使用に対しての啓蒙健康診断の受診率の向上。
- ・薬服用において副作用等の注意事項等、施設用掲示物作成など。
- ・薬の追加の処方提案。
- ・薬のホッチキス止めなどでコンプライアンスの向上につなげていること。
- ・門前病院の薬剤部や先生と必要に応じて情報交換の会議を開催しています。
- ・門前の病院と疑義照会の手間を省くため病院-薬局間の内規を作り(プロトコール)、疑義照会の回数を減らし対人まで行く時間を短縮できた。
- ・訪問指示以外のコンプライアンス確認、ショート・デイサービス利用中の訪問、PCAポンプ初めての薬局への導入指導。
- ・訪問看護師への情報提供。
- ・複数の医療機関の薬を預かり全てを一包化(受診日処方日数は異なるため薬局で一度全部預かることになる)。
- ・服薬困難の理由から割線がない薬品の半割調剤。
- ・服薬アドヒアランスの向上の為に毎週土曜日の朝、独居で認知症の患家に服薬させるために訪問している。
- ・病院と連携し、吸入フィードバック管理表に基づく吸入操作、病識などの確認点数の算定項目を満たさない一包化調剤。
- ・必要に応じて近隣の病院の薬剤部を通じて医師へ情報提供。
- ・皮膚科門前のため肌に合った保湿剤、石鹸、シャンプーなどをサンプルでお試しいただいています。
- ・認知症啓発→認知症アドバイザー(キャラメイト)認定、バイタルサイン研修会参画(日本在宅薬学会主幹)、アンビ・ペング活動(国体/東京オリパラ)。
- ・認知症の傾向がある独居の患者がいれば、包括支援センターに連絡をしたりする。
- ・日めくりカレンダー形式のお薬カレンダーの作成および薬のセット。
- ・特別養護老人ホームの調剤後の、用法毎にホチキス止めて配薬、多職種への情報提供。
- ・糖尿病重症化予防事業。
- ・電話などでケアマネ、訪問看護師への情報提供、処方医(門前医師)に面談にての情報提供。
- ・地域連携として、地域の催し物の際に骨密度測定などの検査を無料で行っている。
- ・地域包括支援センターへの訪問。
- ・介護フェスタなどの企画や運営、管理栄養士を採用し、食事指導や栄養相談の応需。
- ・地域個別ケア会議等への参加残薬回収しての一包化在宅患者担当訪問看護師等との情報共有調剤報酬請求の際の適した公費選択推進のための処方医との面会。
- ・地域サロン等での住民向けの講話、認知症カフェへの参画。

薬局での取り組みや今後薬剤師の在り方についてお伺いします

問22. 調剤報酬の点数はつかないが必要な業務として取り組んでいるものがあれば教えてください。

- ・地域の医療関係機関、市役所、消防署が連携し医療情報ネットワークシステムの患者情報カードを無料で配布し服用歴、検査値、病歴がインターネットでわかるシステムを導入している。
- ・退院後に在宅へ繋がらない、退院前カンファレンスへの参加。
- ・多職種への勉強会を開催薬剤師の職能拡大の為、新しい資格の所得。
- ・他職種・他薬剤師の連携、自己研鑽の認定資格取得、処方変更なしの疑義照会など。
- ・足の不自由な方のためにご自宅への薬の配達。
- ・精神疾患患者に対するメンタルサポート。
- ・処方箋監査にて処方内容がすべて不要になった場合の処理在宅などで必要に応じてフォローでの訪問。
- ・処方箋とは関係なく、健康診断結果を持ち込んだ患者への解説(健康相談)。
- ・在宅時の緊急対応。
- ・在宅患者様へのおむつ等配達、多職種への情報提供。
- ・在宅医療にて、事前報告するため(処方発行前に変更となるため)、重複相互作用防止加算が算定できないことが多い。
- ・骨密度や脳年齢などの測定会(不定期)相談会。
- ・高齢者に対する剤数が足りない一包化薬局での薬のお預かり・保管。
- ・健康サポート薬局を取得し、お薬相談、市販薬の拡充などを実施。
- ・禁煙指導。
- ・管理栄養士と協力した食事・栄養相談先確認・先指導の徹底。
- ・患者様との会話(長い)服薬情報提供(当該患者様に医師に連絡することをお伝えしない場合)。
- ・患者薬品廃棄ボックスの活用啓蒙。
- ・患者希望による一包化の加工(ライン引き、日付け記入など)、薬袋への薬効などの記載。
- ・一包化出来ない錠剤や散剤を、一包化薬にテープ止めする服薬支援。
- ・医療情報連携ネットワークを活用している患者への服薬指導の評価。
- ・プロトコール薬局での健康相談会の実施検体測定在宅患者の見守りのための訪問。
- ・ブラウンバッグ配布特定健診受診勧奨熱中症対策。
- ・スポーツファーマシストとしての活動。
- ・OTC来局時併用薬の確認他薬局でもらったお薬の副作用の相談一包化加算対象でない先生からの一包化の指示。
- ・1週間間隔の空かない在宅訪問(医療、介護)担当者会議への参加疑義照会による処方削除(処方箋自体が削除の場合)必要に応じての患者訪問(残薬確認、アフターフォローなど)。

# 調査結果 対人業務へのシフト

問23. 対人業務へのシフトに向けて必要な施策や現状の課題、問題点等がありましたらお聞かせ下さい。

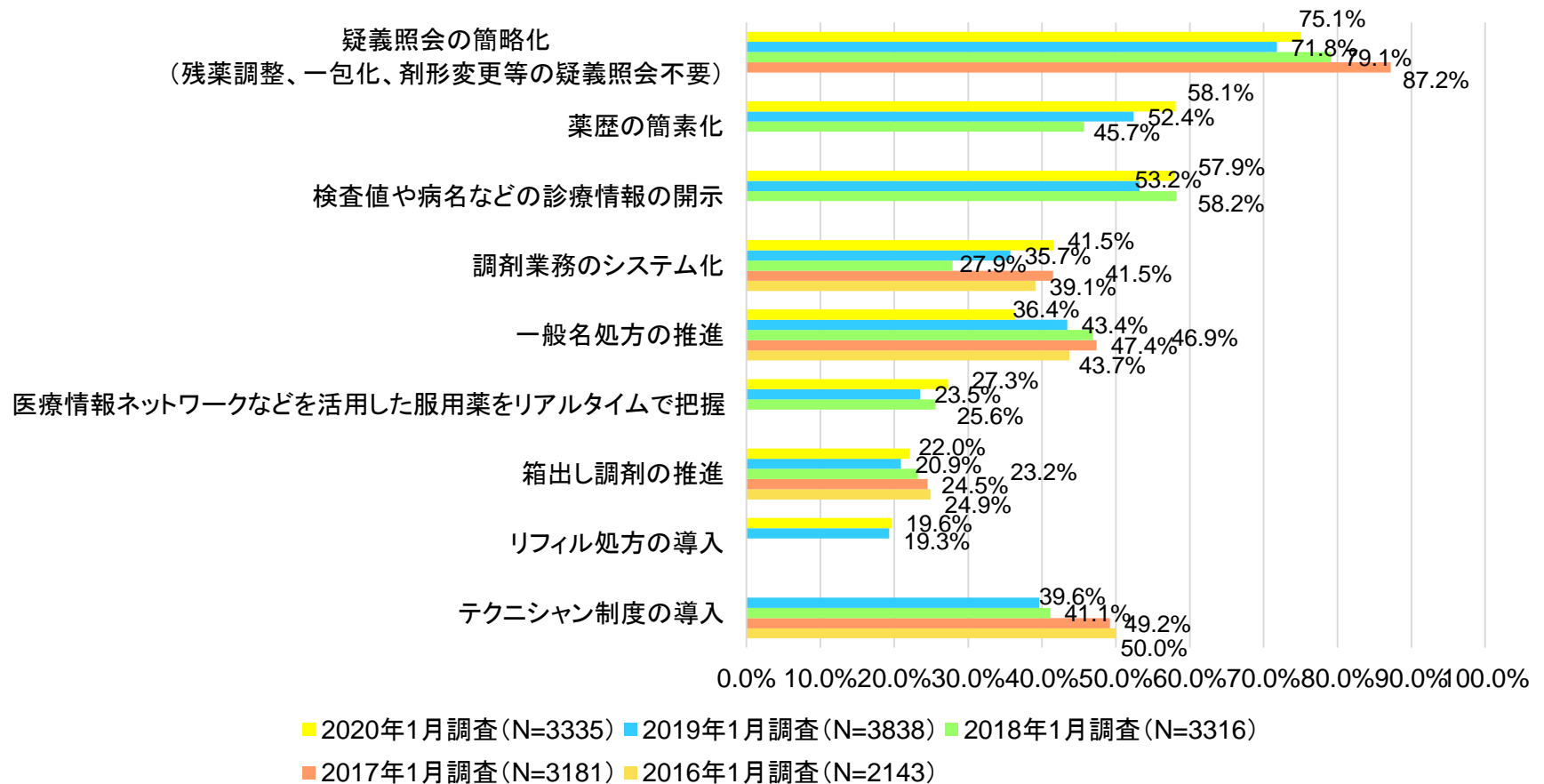
<複数回答可> <必須> N=3335

○箱出し調剤の推進…735件 ○調剤業務のシステム化…1385件 ○一般名処方の推進…1213件

○検査値や病名などの診療情報の開示…1932件 ○薬歴の簡素化…1937件

○疑義照会の簡略化(残薬調整、一包化、剤形変更等の疑義照会不要など)…2504件

○医療情報ネットワークなどを活用した服用薬をリアルタイムで把握…910件 ○リフィル処方の導入…654件 ○その他…92件



# 調査結果 対人業務へのシフト

問23. 対人業務へのシフトに向けて必要な施策や現状の課題、問題点等がありましたらお聞かせ下さい。

○その他…92件

## その他

- ・薬剤師配置人数要件の強化。・薬剤師業務の周知への広報。・薬剤師の人員不足。
- ・薬剤師の職能の発信(医療従事者・非医療従事者ともに)
- ・薬剤師の社会的地位の向上(服薬指導の患者からの理解関心)。・薬剤師の質と意識の向上。資格に満足している薬剤師の意識のシフト。
- ・薬剤師の管理監督のもと、薬剤師以外のスタッフができる業務の範囲を広げてほしい。
- ・薬剤師のコミュニケーション力・提案力不足。
- ・薬剤師で判断している業務・内容のルール化(1両日中にDr.連絡をし指示をあおぐのであれば休薬指示は可とするなど)。
- ・薬剤師でなくても薬剤師の責任の範囲で調剤できるように。
- ・併売先発医薬品の疑義照会なしでの相互変更可。
- ・薬剤の用法・用量について、薬剤師に裁量権を認める。一方で医師の裁量権の範囲を薬剤師に移管する。
- ・薬局での予防接種の実施、モーニングアフターピルの販売など患者にとって有益な行為を実施できる権限。・投薬カウンターの整備。
- ・門前薬局ではなく、物販併設店も推進していくべき。・変更不可処方箋を面では対応しきれない。・対人業務への報酬の見直し。
- ・服薬指導を薬局以外(患者宅に何うなどではなく)でも行えるような制度(薬はのちに郵送など)。・局方品のメーカー自由化。
- ・非薬剤師側のモチベーション向上と業務負担。・煩雑な後発品推進の改善。後発品の選択・在庫や説明等かなりの業務量。
- ・調剤補助の導入による対人業務の充実。・地域フォーミュラリーの推進による取扱い在庫減少、電子処方箋による入力 of 簡素化。
- ・対人の時間の確保のためのその他の業務のシステム化。・初回問診票の様式統一(医薬共用、コピーを患者に提供で双方の時短に)。・処方内容の変更理由や処方中止理由の詳細(処方元から)。
- ・手書き処方箋での文字が読めない場合の対応。・コンビニ受診の抑制、かぜ処方 は 自費負担。
- ・時間外の疑義照会(病院に連絡がつかず、話が進まない)・レセコンシステムを全国で統一し、電子処方箋により、入力時間を短縮。
- ・残薬調整に対しての加算を高くする 医療費削減に貢献している医療従事者は主に薬剤師なのだから医科より評価するべき。
- ・散剤混合・軟膏混合など薬剤師以外が行っても品質に影響しない事の委譲。
- ・急性期などの症状のみの場合における投薬、薬歴の簡素化。
- ・今まで服用していた薬がいいといわれる事で在庫が増える。同じ成分の薬をいくつも在庫しないと いけなくなる事。・お薬手帳の一元管理。
- ・医師の電子カルテを薬局で確認できるネットワークと体制の導入。・PC入力、監査の簡素化。
- ・個別指導のくだらない指摘は不要。患者利益にならないことは全部調剤報酬返納でいいと思う。
- ・パート薬剤師、派遣薬剤師の意識の問題。
- ・疑義照会に対して医療機関側からの迅速な対応が必要。各種加算算定時に必要な薬歴の記載事項、書類の作成。
- ・レセプト業務の削減。・とにかくIT化を推進しない事には業務負担は軽減されないと思う。・テクニシャン制度の推進。
- ・GE処方推進、生活保護の方の先発調剤に関して薬局の負担軽減、処方せんの記載不備をなくすシステム化。

# 調査結果 患者サービスの向上

問24. プロトコールなどの活用により疑義照会が簡素化できれば、患者サービスの向上(服薬の向上、待ち時間短縮など)に寄与すると考えられる項目についてお教えてください。<複数回答可><必須> N=3335

※プロトコールとは医師・薬剤師等で事前に作成・合意された文書をいい、薬剤師はそのプロトコールに従って主体的に薬物療法を管理することができる。(例:疑義照会の省略可)

○残薬調整…2965件 ○成分名が同一の銘柄変更(フォサマック35mg→ボナロン35mg)…2783件

○剤形の変更(ビオフェルミン錠→ビオフェルミン散)…2590件

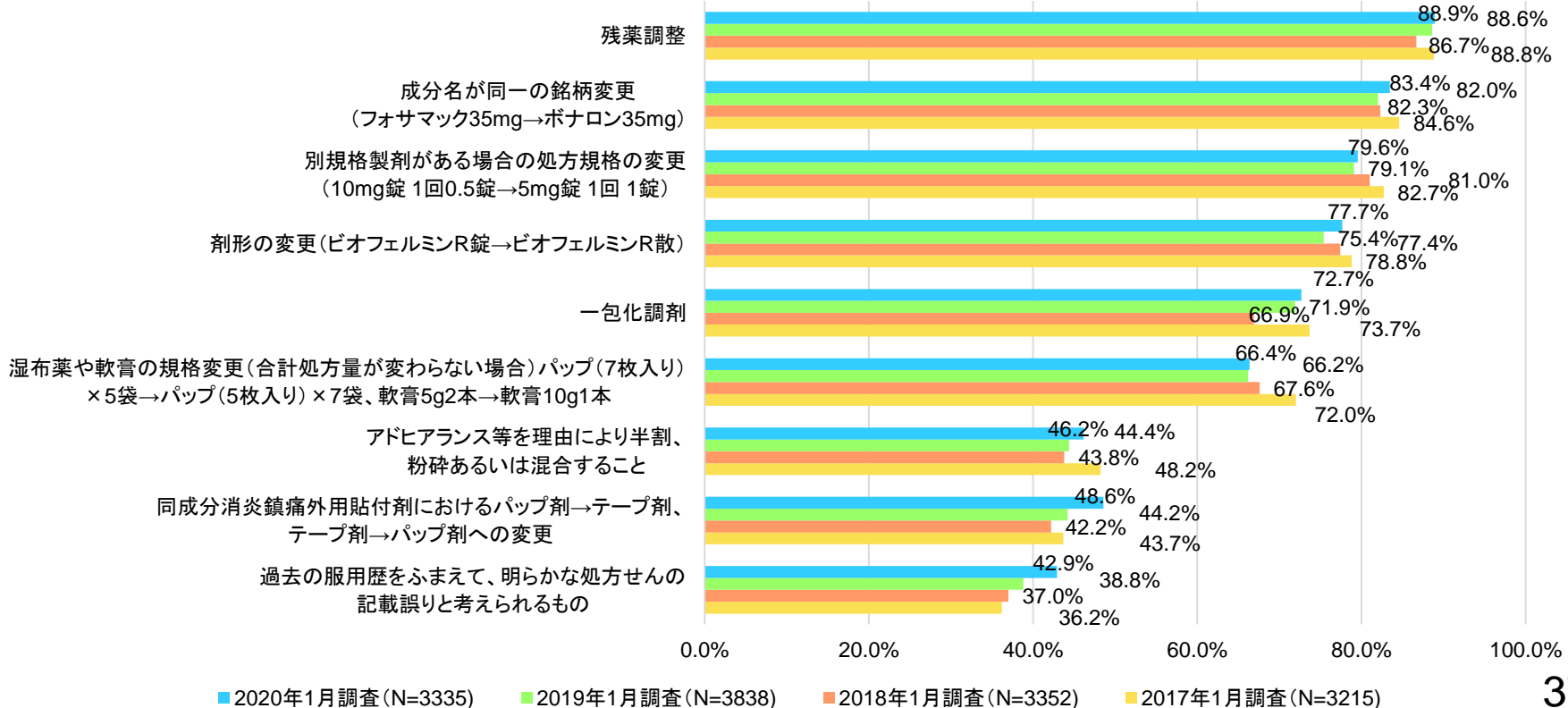
○別規格製剤がある場合の処方規格の変更(10mg錠 1回0.5錠→5mg錠 1回 1錠)…2653件

○アドヒアランス等を理由により半割、粉碎あるいは混合すること…1540件 ○一包化調剤…2424件

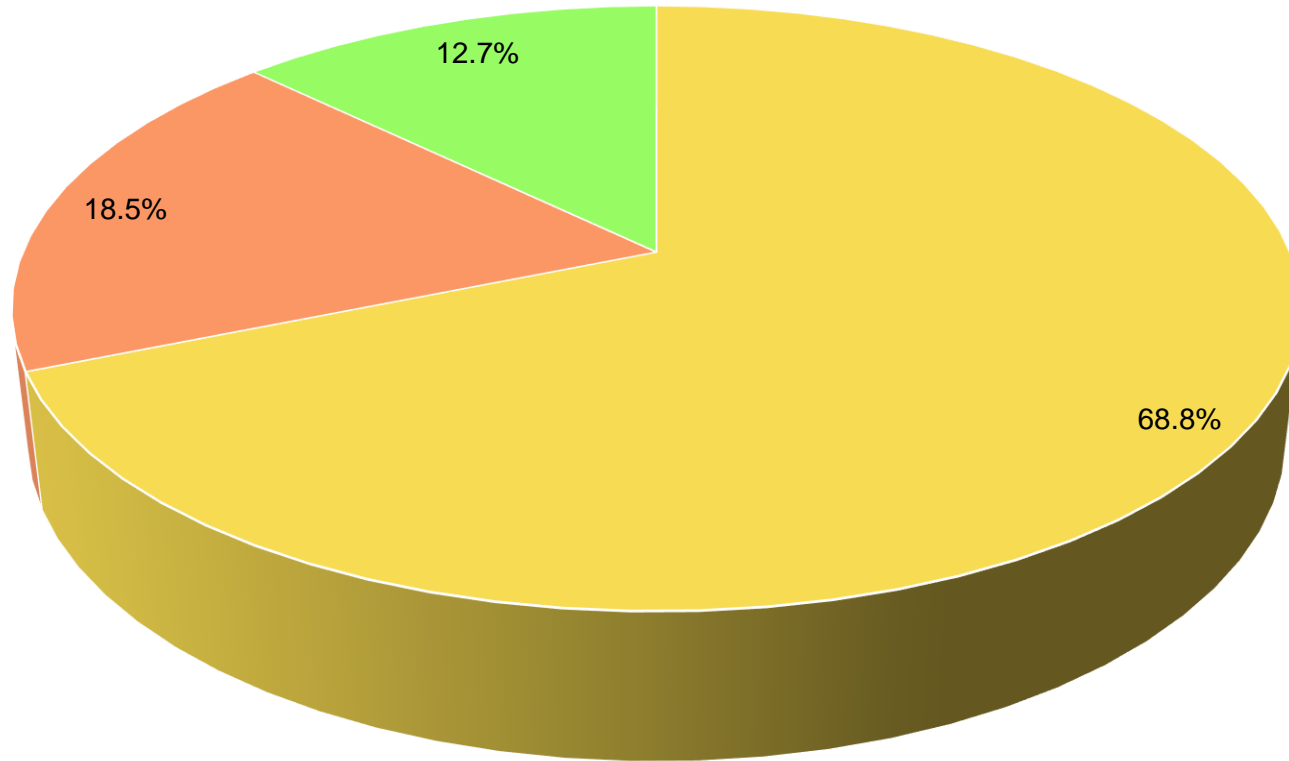
○湿布薬や軟膏の規格変更(合計処方量が変わらない場合)パップ(7枚入り)×5袋→パップ(5枚入り)×7袋、軟膏5g2本→軟膏10g1本…2214件

○同成分消炎鎮痛外用貼付剤におけるパップ剤→テープ剤、テープ剤→パップ剤への変更…1620件

○過去の服用歴をふまえて、明らかな処方せんの記載誤りと考えられるもの…1431件



問25. 非薬剤師に実施させることが可能な調剤業務を示した「0402通知」の実施状況にお教えてください。  
<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335  
○実施している…2294件 ○実施予定…616件 ○実施予定がない…425件



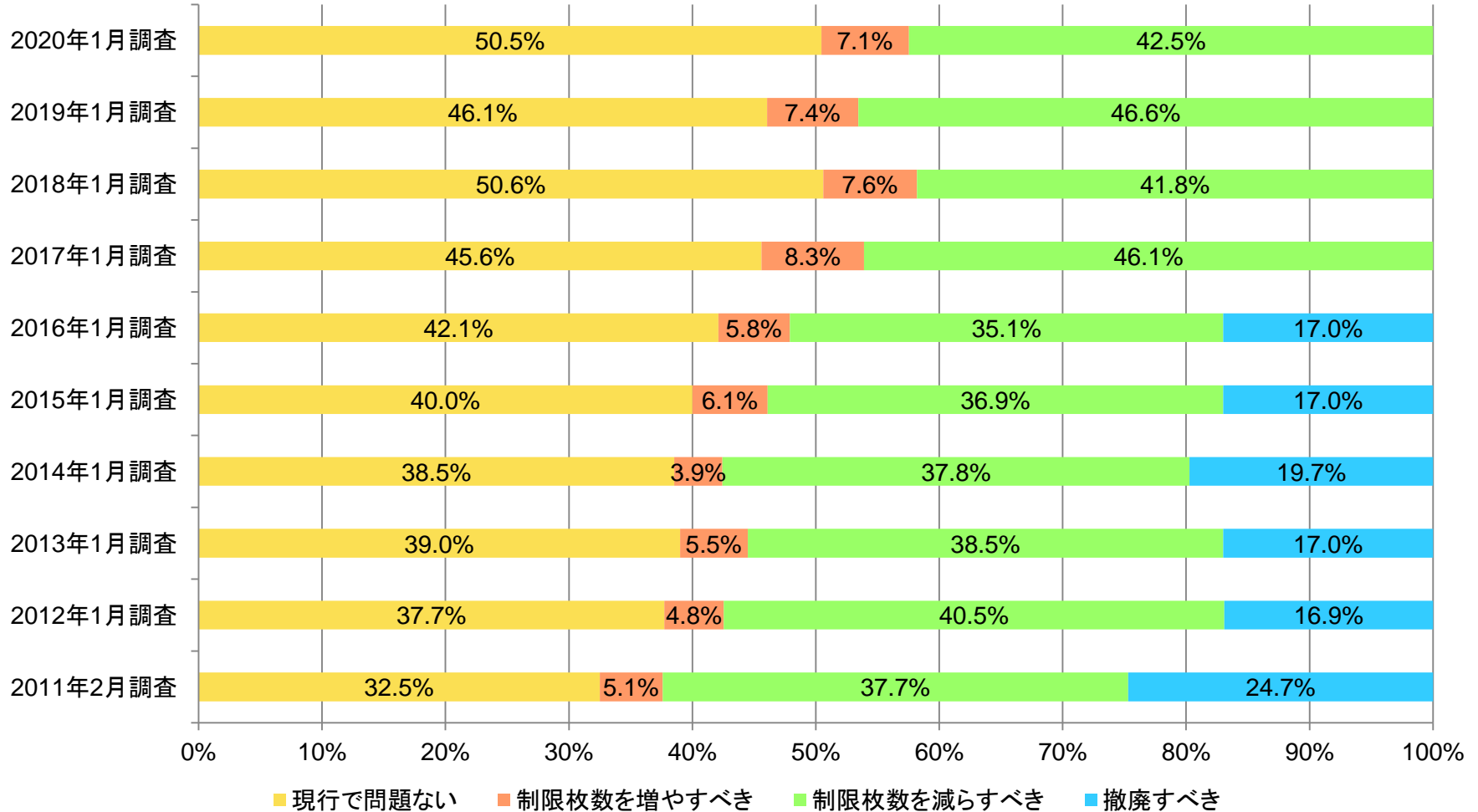
■ 実施している ■ 実施予定 ■ 実施予定がない

# 調査結果 40枚制限について

問26. 現行の薬剤師配置基準(処方せん40枚あたり1名配置)についてどのようにお考えですか？

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○現行で問題ない…1683件 ○制限枚数を増やすべき…236件 ○制限枚数を減らすべき…1416件

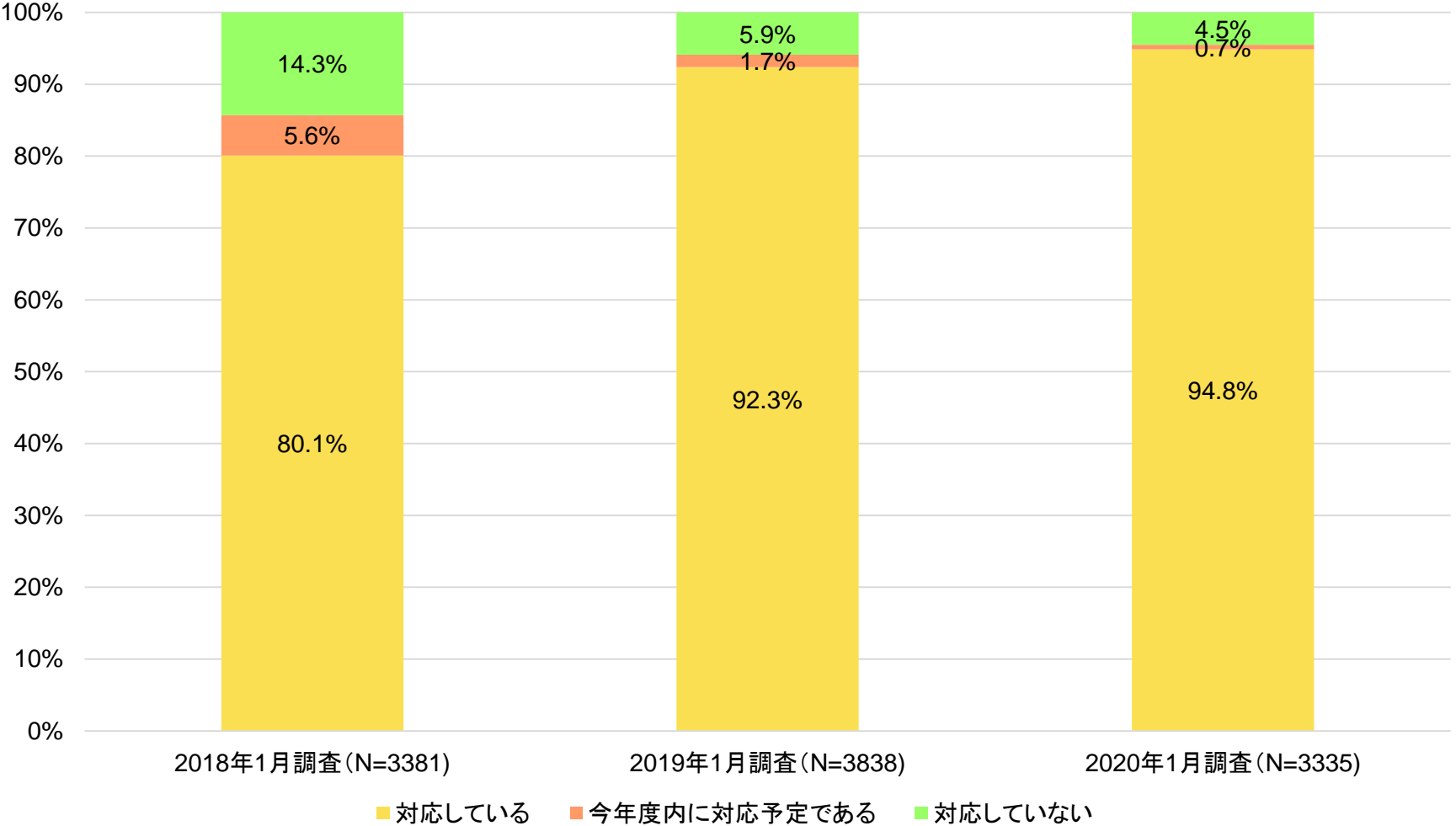


# 調査結果 電子お薬手帳

問27. 貴店における電子お薬手帳への対応状況についてお教えてください。

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○対応している…3163件 ○今年度内に対応予定である…22件 ○対応していない…150件



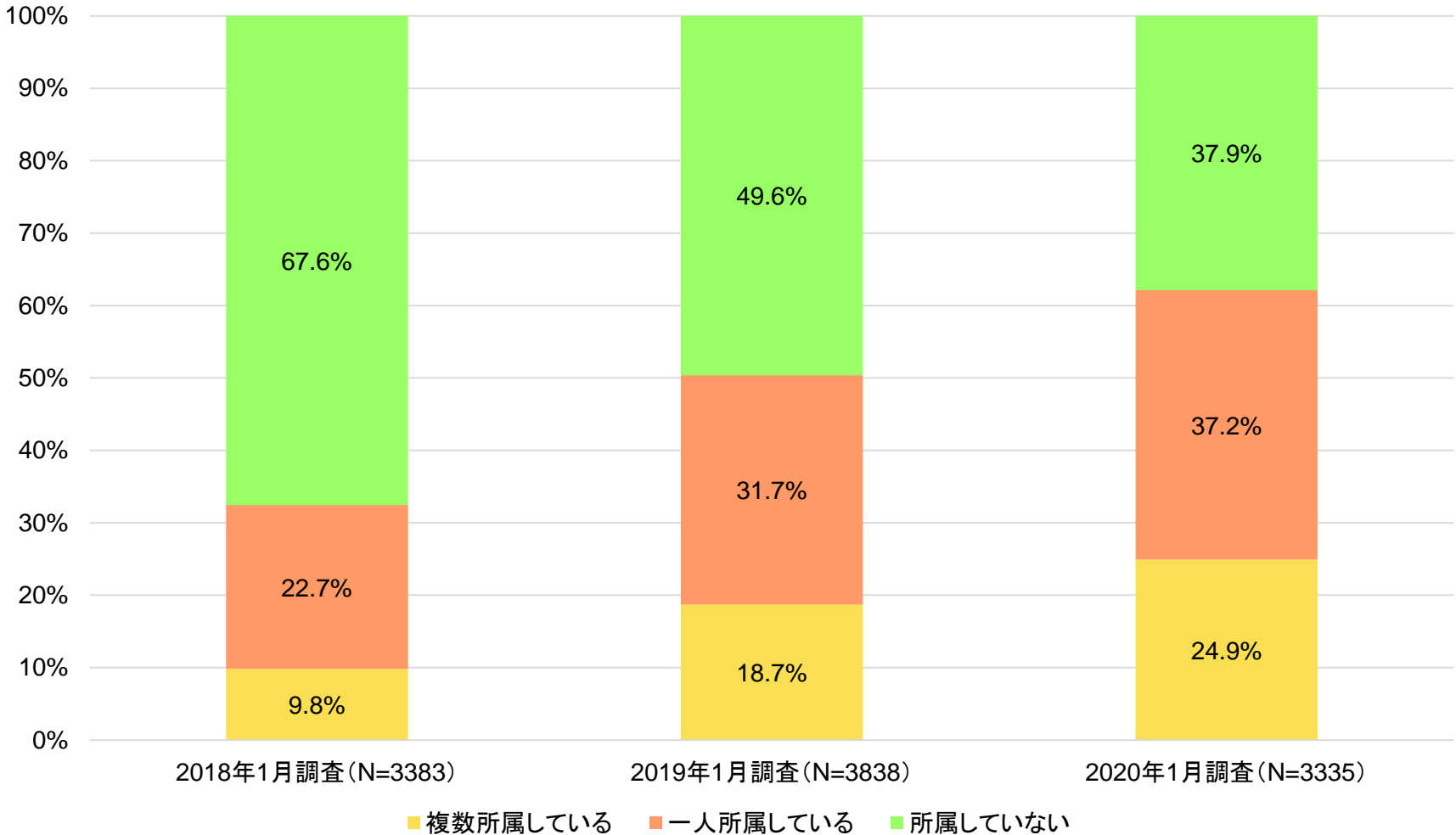


# 調査結果 健康サポート薬局研修修了薬剤師

問28. 貴店における健康サポート薬局研修を修了した薬剤師の所属状況についてお教えてください。

<該当する項目を選択してください> <必須> N=3335

○複数所属している…831件 ○一人所属している…1241件 ○所属していない…1263件



# 調査結果 地域の医療・介護関係の多職種と連携する会議の参加

問28で「複数所属している」「一人所属している」に該当する方へお尋ねします。

(1)当該薬剤師が少なくとも過去1年間に1回、地域ケア会議等、地域の医療・介護関係の多職種と連携する会議に出席しましたか？

<該当する項目を選択してください> N=2039

○はい…1083件 ○いいえ…956件

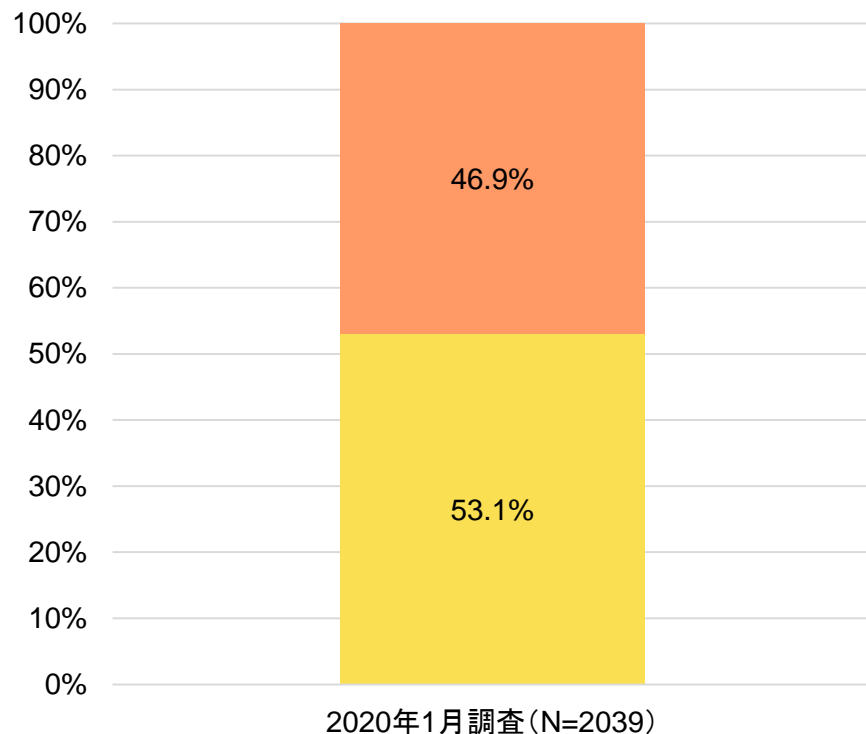
問28で「所属していない」に該当する方へお尋ねします。

(1)少なくとも過去1年間に1回、地域ケア会議等、地域の医療・介護関係の多職種と連携する会議に出席しましたか？

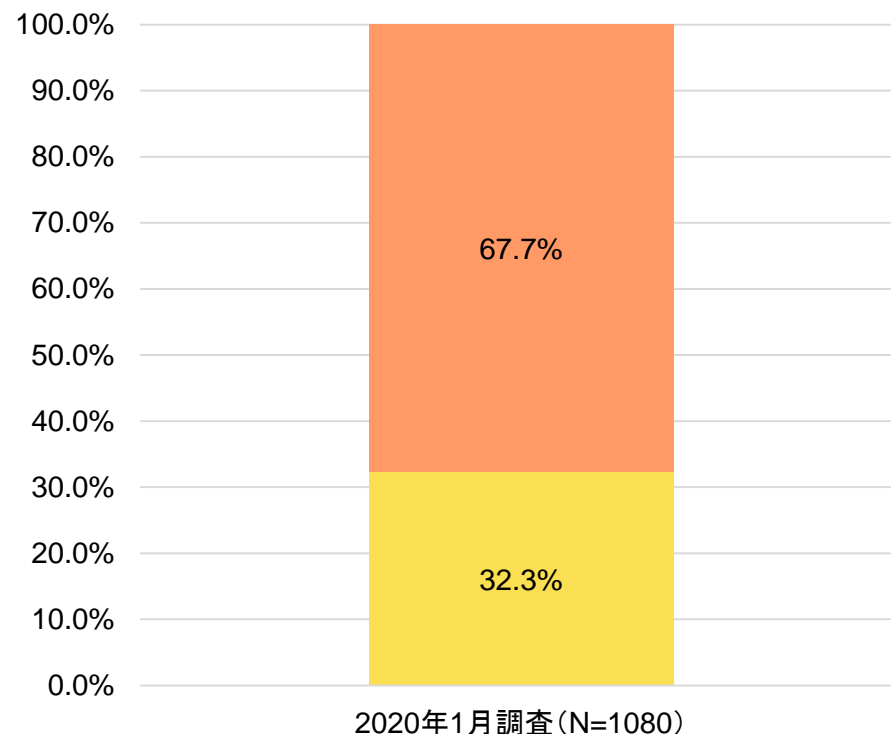
<該当する項目を選択してください> N=1080

○はい…349件 ○いいえ…731件

「複数所属している」「一人所属している」に該当する方



「所属していない」に該当する方



# アンケートに関する内容問い合わせ

一般社団法人 日本保険薬局協会 事務局

03-3243-1075

E-mail: [webmster@nippon-pa.org](mailto:webmster@nippon-pa.org)